２０１９年度

埼玉県高等学校体育連盟柔道専門部

規約・大会規定

埼玉県高等学校体育連盟柔道専門部

目　　次

1	埼玉県高体連柔道専門部　規約	1
2	埼玉県高体連柔道専門部　大会規定（大会要項）	3
	大会申込書　用紙	4
	選手変更届　用紙	5
	合同チーム編成申請書　様式	7
	関東高等学校柔道大会県予選会	１０
	学校総合体育大会兼全国高等学校柔道大会県予選会	１４
	県民総合体育大会兼埼玉県高等学校柔道新人大会	１８
	埼玉県高等学校柔道選手権大会兼全国選手権大会埼玉県大会	２１
3	審判・監督に関する申し合わせ事項	２４
4	大会参加に関する申し合わせ事項	２７
5	埼玉県高体連柔道専門部　役員一覧(案)	２８
6	埼玉県高体連柔道専門部　大会役員・係一覧(案)	３０
7	２０１９年度行事予定	
	埼玉県高体連柔道専門部	３２
	埼玉県高体連柔道専門部　大会要項一覧	３３
	埼玉県柔道連盟	３４
	令和元年度以降の全国・関東大会の開催予定一覧	３５
8	県大会シード・抽選方法一覧	３６
9	県大会代表者会議　実施要項	３９
10	関東大会予選タイムスケジュール	４０
11	インターハイ予選タイムスケジュール	４１
12	新人大会タイムスケジュール	４２
13	選手権予選タイムスケジュール	４３
10	埼玉県立武道館の注意事項	４４
11	埼玉県高体連柔道専門部　加盟校一覧	４６
12	埼玉県高体連柔道専門部　関係機関一覧	４９
13	大会結果報告について	５０

※ IJF 審判規定関係、安全指導については全柔連 HP よりダウンロードしてください
※ 全国高体連柔道専門部関係についてもHPよりダウンロードしてください
※ 県専門部関係の資料は新しい県柔道専門部の下記 HP よりダウンロードしてください

https://saitama-hsjudo.jimdo.com/

埼玉県高体連柔道専門部　規約

第１条　本専門部は、埼玉県高等学校体育連盟柔道専門部と称する。（以下専門部という）

第２条　専門部事務局は、委員長の在任する学校とする。

第３条　専門部は本連盟加盟高等学校の柔道を統轄し、健全なる普及発達を図ることを目的とする。

第４条　専門部は本連盟の加盟高等学校の柔道部をもって組織する。

第５条　前条の目的を達成するために、次の事業を行う。

１　柔道を指導奨励する。
２　各種大会の開催をする。
３　代表選手の決定をする。
４　各種講習会の開催をする。
５　その他本専門部の目的を達成するために必要な事業を行う。

第６条　専門部に次の役員をおく。

部長１名、委員長１名、副委員長４名(各地区１名)、常任委員８名(各地区２名)、女子部役員４名(各地区１名)、強化部役員若干名、事務局若干名、審判部長１名、審判副部長４名、審判委員。また、副部長は必要に応じておくことができる。

第７条　部長は、委員会で校長より選出し、会長が委嘱する。但し、委員長が兼任することもできる。部長は専門部を代表して会務を統轄する。

第８条　副部長は、役員を経験した者の中から委員会で推薦をし、選出する。

第９条　委員長は委員会で選出し、会長が委嘱する。委員長は会務を処理する。

第 10 条 副委員長は、各地区委員会で選出し、会長が委嘱する。副委員長は委員長を補佐し、委員長事故ある時はその職務を代理する。
また、各地区においては、委員長の職務を代理することができる。

第 11 条 常任委員は各地区委員の互選により選出し、専門部の計画運営に当たる。

第 12 条 女子部委員は各地区委員の互選により選出し、女子部の計画運営に当たる。強化部委員は委員長が委員より委嘱する。事務局は委員長が委員より委嘱する。事務局は庶務、会計、広報等に関する業務を処理する。審判部長、審判副部長、審判部員は委員会で選出する。審判副部長は、地区の審判長を当てることを原則とし、欠員が生じた地区は別に審判副部長を当てる。 審判部長は本連盟および専門部の主催、共催による大会の審判に関する業務を処理する。審判副部長は部長を補佐し、必要のあるときは部長の職務を代理する。
審判委員は審判上の業務に当たる。審判委員は他の委員を兼ねることができる。

第 13 条 委員は、加盟高等学校柔道部を代表し、専門部の重要事項を審議する。

第 14 条 役員の任期は２ヶ年とし、再任を妨げない。補欠役員の任期は、前任者の残任期間とする。

第 15 条 会議は、本連盟会長、部長の連名をもって召集し、議長は委員があたる。地区会議においてはこれに準ずる。

第 16 条 委員会は、部長、副部長、委員長、副委員長、常任委員、女子部委員、強化部委員、審判部長、審判副部長、委員、事務局で構成し、役員の選出、予算、決算の承認その他重要事項を審議する。

第 17 条 常任委員会は、部長、副部長、委員長、副委員長、常任委員、女子部委員、強化部委員、審判部長、審判副部長、事務局で構成し、必要に応じて開催する。

１　常任委員会は、委員会に提出する原案の作成、緊急事項の処理、その他会務の執行にあたる。決定事項は委員会の承認を得なければならない。
２　専門委員会は、委員および常任委員で構成し、専門部に関する事項を審議する。
３　顧問会は各地区の加盟高等学校柔道部顧問をもって構成し、委員の諮問に応ずる。

第 18 条 専門部の経費は、本連盟一般会計より配分される専門部費をあてる。

第 19 条 会計に関する細則は別に定める。

第 20 条 専門部の会計年度は、毎年４月１日より翌年３月３１日までとする。

第 21 条 本規程の改正は、本専門部常任委員会並びに専門委員会の議決による。

付　　則
本規程は、昭和 48 年４月１日より施行する。
本規程は、平成７年５月１日より一部改正し施行する。
本規程は、平成 10 年５月６日より一部改正し施行する。
本規程は、平成 11 年４月 30 日より一部改正し施行する。
本規定は、平成 30 年５月２日より一部改正し施行する。

埼玉県高体連柔道専門部　大会規定

第１条　本連盟の主催或は共催する柔道大会に出場する場合はすべてこの規定によるものとする。

第２条　本連盟の主催或は共催する柔道大会に出場する場合は本県高等学校体育連盟に加盟していなくてはならない。

第３条　本連盟の主催或は共催する柔道大会に出場する場合は次の事項を厳守しなくてはならない。これらの事項の何れかが守られない場合は出場を認められない。

１　試合の申込みは所定の要領（第６条）により記載するものとする。
２　試合の申込みは校長の責任において（校長印捺印）提出するものとする。
３　試合申込みは定められた期日（代表者会議組合せ開始前）までに、所定の宛先に提出することとする。
　ただし、止むを得ない事情が生じた場合は専門委員会で審議する。
４　各大会の要項に従い、選手資格、チームの編成要領等を厳守する。
５　試合申込みの後に参加者側の事由により欠場する場合は、大会開始前に必ず大会委員長または事務局に連絡する。無断欠場の場合は次に行われる大会の出場を認めないこともある。
６　試合当日、定められた時間内にそのチームの監督（引率責任者）等代表者が受付を完了することとし、完了しない場合は棄権とする。
７　会場内における選手、並びに応援についてはそのチームの監督（引率責任者）がすべて掌握し、その責にあたる。
８　大会中の不時の負傷または疾病に対しては応急処置を施すが、その後の責任は負わない。

第４条　本連盟の主催或は共催する柔道大会とは、概ね次のものである。

１　学校総合体育大会地区予選会兼春季地区高校柔道大会
　関東大会県予選会男子個人地区推薦、全国大会男子・女子個人地区予選会
２　関東高校柔道大会県予選会
３　学校総合体育大会兼全国高校柔道大会県予選会
４　秋季地区高校柔道大会
５　県民総合体育大会兼埼玉県高等学校柔道新人大会
６　埼玉県高等学校柔道選手権大会兼全国高等学校柔道選手権大会埼玉県大会

第５条　本連盟の主催或いは共催する柔道大会では、勝敗の判定は次の要領による。

１　個々の試合はすべて国際柔道連盟試合審判規定（附則付）による。
２　団体試合の点取り試合において、同点のときは得点内容を検討し、なおも差がない場合は代表戦を行う。
３　内容の検討とは一本勝（反則勝、不戦勝等を含む）と優勢勝とに差をもうける。
　ただし、予選を兼ねる大会では本大会の規定による。

第６条　本連盟の主催或は共催する大会の申込みは４ページの様式による。なお、大会によって選手の増減がある場合も、この様式に準ずるものとする。用紙の大きさは日本標準規格Ａ４判とする。
また、参加申込後の選手の事故等による選手変更届は５ページの様式による。

抽選番号	

○　○　大　会　申　込　書

埼玉高体連柔道専門部学校番号			

（平成 26 年度までの全柔連登録番号を記入して下さい）

学校名

監督名　　印

順　位	氏　　名	学年	段位	身　長	体　重	生 年 月 日
大　将						
副　将						
中　堅						
次　鋒						
先　鋒						
補欠①						
補欠②						

上記の者は、標記の大会に出場することを認め、参加申込いたします。

年　　月　　日

高等学校長　　印

大会会長　様

選　手　変　更　届

1　大会名

関東高等学校柔道大会埼玉県予選会（男子・女子）

学校総合体育大会兼全国高等学校柔道大会埼玉県予選会（男子・女子）

県民総合体育大会兼埼玉県高等学校柔道新人大会（男子・女子）

埼玉県高等学校柔道選手権大会兼全国高等学校柔道選手権埼玉県大会（男子・女子）

2　変更内容

抽選番号		学校名	高等学校			
順　位	変更前の選手名		変　更　理　由		補欠選手名	
	補欠への補充選手名		段・級	学　年	身　長	体　重
			段・級	年	cm	kg

上記選手変更の生徒を、大会に出場することを認めます。

年　　月　　日

大会会長　様

高等学校長　　印

監督名　　印

※　補欠への補充登録選手の届け出の場合は、医師等の診断書が必要となります。

第７条（付則）

該当種別の大会前日が休日等で選手変更届の校長職印の押印並びに医師等の診断書の準備が間に合わない場合の対応について

１　該当種別の大会前日が休日等で選手変更の必要があった場合、顧問は校長に連絡を取り、必ず許可を得る。
２　大会当日、該当種別の受付時に大会事務局へ選手変更届を提出する。計量がある場合には、計量終了５分前までとする。
３　この時、書類作成に当たり校長の職印の押印が時間的に不可能な場合には、仮に顧問の氏名捺印のみでも受理する。
４　同時に、医師等の診断書が時間的に準備出来ない場合は、正規または仮の選手変更届のみでも受理する。
５　大会事務局で顧問に仮変更届並びに医師の診断書について確認をする。該当校の校長に無許可で大会参加した場合についての責任は埼玉県高体連柔道専門部では負えない。
６　大会終了後、該当校の顧問は一週間以内に不足している正規の選手変更届並びに医師等の診断書等の書類を取り揃え、高体連柔道専門部事務局へ提出すること。
７　もし、校長に無許可で選手変更した場合及び期限までに書類の提出がない場合は、該当校の今後の指導については、埼玉県高体連柔道専門部で検討する。

［大会参加資格の別途に定める規定］

１　学校教育法第 82 条の２、83 条の学校に在籍し、埼玉県高等学校体育連盟の大会に参加を認められた生徒であること。
２　以下の条件を具備すること。
（１）大会参加資格を認める条件
ア　全国高等学校体育連盟の目的及び永年にわたる活動を理解し、それを尊重すること。
イ　参加を希望する専修学校及び各種学校にあっては、学齢、終業年限ともに高等学校と一致していること。また、連携校の生徒による混成は認めない。
ウ　各学校にあっては、部活動が教育活動の一環として、日常継続的に責任ある顧問教諭の指導のもとに適切に行われており、活動時間等が高等学校に比べて著しく均衡を失しておらず、運営が適切であること。
エ　５ヶ月以上の柔道経験を有するもの。
（２）大会参加に際し守るべき条件
ア　関東高等学校体育大会開催基準要項を遵守し、競技種目大会申し合わせ事項等に従うとともに、大会の円滑な運営に協力すること。
イ　大会参加に際しては、引率指導者が引率するとともに、万一の事故の発生に備えて傷害保険に加入しておくなど、万全の事故対策を講じておくこと。
ウ　大会開催に要する経費については、応分の負担をすること。

「２１世紀いきいきハイスクール構想」の推進に伴う特別措置
学校の統廃合に伴う複数校合同チームの大会参加については次の通りである。
（埼高体連第４４２・４６２号文書から）

１　学校の統廃合による複数校合同チーム編成条件
(1) 新校予定校の各地区内の学校同士であること。
(2) それぞれの対象校で、運動部として成立していること。
(3) 対象校の運動部として高体連に加盟すること。
(4) 対象校の両校またはいずれか１校が試合参加の必要最低人数を確保することができない場合。
(5) 両校の校長の承認のもと、計画的・継続的に練習していること。

２　複数校合同チームによる大会参加について
(1) それぞれの対象校の校長が認めること。
(2) 専門部長宛に合同チーム編成申請書（様式１）を提出すること。
(3) 大会参加には、それぞれの対象校から引率責任者をつけること。
但し、それぞれの対象校の校長が協議し、認めた場合は１名の引率責任者でも可能とする。

(4) 一人の選手が、単独校チームと複数校合同チームの両方からの大会出場はできない。
(5) 合同チーム名は両校の連名とする。

3　その他

(1) 同一大会（県内地区予選から県大会及び関東・全国大会）の途中で単独チームと複数校合同チームの変更は認めない。
(2) 対象校は、試合に出場するためだけでなく、日常的に連携を取り、安全面等に充分な配慮を行うこと。
(3) 複数校合同チームで大会参加する場合は、各競技種目専門部と充分な連携を図ること。
(4) 複数校合同チームは、少人数の運動部による単独チームで大会参加ができない場合の救済措置であるという趣旨を尊重すること。

様式１

合同チーム編成申請書（専門部提出用）

1　大会名	
2　種　目	

3　合同チームを編成する理由（合同部活動の活動実績についても記載）

4　合同チームを編成する学校（該当校を含めて全て記載）及び顧問名

	学　　校　　名	顧　　問　　名
1		
2		

柔道専門部長　○○○○○　　殿

（乙）の高校と協議のうえ、上記内容で合同チームを編成し大会に参加することを申請いたします。

年　　月　　日

（甲）　学 校 名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿高等学校
　　校 長 名　　印

（乙）　学 校 名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿高等学校
　　校 長 名　　印

抽選番号	

○　○　大　会　申　込　書　（合同チーム専用）

埼玉高体連柔道専門部学校番号			
埼玉高体連柔道専門部学校番号			

（平成 26 年度までの全柔連登録番号を記入して下さい）

（甲）学校名
（甲）監督名　　印

（乙）学校名
（乙）監督名　　印

順位	氏　　名	学年	段位	身　長	体　重	生 年 月 日
大将	学校名					
副将	学校名					
中堅	学校名					
次鋒	学校名					
先鋒	学校名					
補①	学校名					
補②	学校名					

上記の者は、標記の大会に出場することを認め、参加申込いたします。

年　　月　　日

（甲）　　高等学校長　　印

（乙）　　高等学校長　　印

大会会長　様

第８条　本連盟の主催する或は共催する柔道大会の要項は次のとおりである。
ただし、これらの要項中その年度に新しく決定され、或は変更された事項はその都度関係学校に通知されなくてはならない。すなわちそれは大会期日、会場、選手資格（年令学年）、チーム編成、要項、申込期日、試合方法、代表者会議に関する件等である。

１　地区高等学校柔道大会　実施要項

(1) 学校総合体育大会地区予選会兼春季地区高等学校柔道大会

主催　県高体連、支部高体連
主管　支部高体連柔道専門部

ア　男子団体試合
(ｱ) 上位４校は関東大会県予選会でシードされる。
(ｲ) 体重別で実施する。
(ｳ) 各校１チーム出場出来る。
イ　男子個人試合
(ｱ) 体重別、７階級とし、原則として地区推薦された上位８名の者が全国大会県予選会に出場できる。
(ｲ) 関東大会個人試合（体重無差別）の地区推薦を兼ねることができる。県大会は各地区比例配分により割り当てられた人数が出場できる。
ウ　女子団体試合
(ｱ) 上位２校は関東大会県予選会でシードされる。
(ｲ) 体重別で実施する。
(ｳ) 各校１チーム出場出来る。
エ　女子個人試合
(ｱ) 体重別、７階級を原則とする。

(2) 秋季地区高等学校柔道大会

※　この大会は４地区各々の関係者が協議の上、実施要項を定める。

ア　男子団体試合
(ｱ) 無差別で実施する。
(ｲ) 上位２校を県新人大会と県選手権大会にシードする。
イ　男子個人試合　体重別、７階級とする。
ウ　女子団体試合
(ｱ) 上位２校は県新人大会と県選手権大会にシードする。
(ｲ) 体重区分は、各地区の協議による。
エ　女子個人試合　各地区の協議により実施する。

２　県高等学校柔道大会　実施要項
２０１９年度関東高等学校体育大会　第６６回関東高等学校柔道大会埼玉県予選会

主　　催　　埼玉県高等学校体育連盟
主　　管　　埼玉県高等学校体育連盟柔道専門部
期　　日　　２０１９年5月5日（日）～ 5月７日（火）３日間
5月5日　会場準備　8：00（競技・補助役員入館、清掃、6試合場、更受付準備、補助役員打ち合わせ）
女子受付　9：00（女子選手入館、更衣：観覧席・更衣室、計量：第２会議室）
男子受付　9：15（男子選手入館、更衣：観覧席）
応援入館　9：45　もしくは選手入館終了後
女子計量終了　10：00
審判打合せ　10：00
開会式　10：45
試合　11：10　男女個人試合（決勝まで）
表彰式　15：30　男女個人試合
清掃終了　16：30
5月６日　会場準備　8：30（競技・補助役員入館、6試合場設営、清掃、受付準備、補助役員打ち合わせ）
男子受付計量　9：00（男子選手入館、更衣：観覧席、計量：屋内相撲場）
女子受付計量　9：15（女子選手入館、更衣：観覧席・更衣室、計量：第２会議室）
応援入館　9：45　もしくは選手入館終了後
男子計量終了　10：00
女子計量終了　10：15
審判打合せ　10：00
開始式　10：45
試合　11：15　男子団体試合（ベスト３２まで）
13：30　男子終了後女子団体試合（決勝まで）
表彰式　16：00　女子団体試合
清掃終了　16：30
5月７日　会場準備　8：30（競技・補助役員入館、4試合場設営、清掃、受付準備、補助役員打ち合わせ）
男子受付　9：00（男子選手入館、更衣：観覧席）
応援入館　9：45　もしくは選手入館終了後
審判打合せ　9：45
開始式　10：30
試合　10：45　男子団体試合（決勝まで）
表彰式　14：30　男子団体試合
清掃終了　15：30　（最終確認）
会　　場　　埼玉県立武道館
〒 362-0032　上尾市日の出４－１８７７　℡ 048-777-2400
参加資格　１　選手は、学校教育法第１条に規定する高等学校に在籍する生徒であること。
２　選手は、埼玉県高等学校体育連盟に加盟している学校の生徒で、当該大会要項の参加資格を有するもの。
３　平成30年度、関東大会の申し込みまでに埼玉県柔道連盟を経て、（財）全日本柔道連盟に登録を完了した者。
４　(１)年令は平成１３年４月２日以降に生まれた者とする。ただし、同一競技の出場は３回までとし、同一学年での出場は１回限りとする。
(２)特例として、この４号の(１)に定める年齢制限については、中国等帰国生徒については適用しない。
５　チームの編成において全日制課程・定時制課程・通信制課程・単位制課程の生徒による混成は認めない。
６　転校後６ヶ月未満の者は参加を認めない。(外国人留学生もこれに準ずる。)ただし、一家転住等やむを得ない場合は、当該専門部長の認可があればこの限りではない。
７　参加する選手は、あらかじめ健康診断を受け、在学する校長の承認を必要とする。
８　参加資格の特例
(１)上記１、２に定める生徒以外で当該競技要項により大会参加資格を満たすと判断された生徒については、別途に定める規定に従い大会参加を認める。

（2）上記４（1）のただし書きについては、学年の区分を設けない課程に在籍する生徒の出場は、同一競技３回限りとする。

9　外国人留学生の参加については、卒業を目的として入学していること。（短期留学は認めない）

参加制限　1　団体試合

（1）男子

ア　１校１チーム出場できる。

イ　チーム編成は監督１名、選手５名（先鋒から軽量級３名、無差別級２名）、補欠２名（軽量級１名、無差別級１名）の計８名とする。

ウ　体重区分は、軽量級 73kg 以下とする。ただし、補欠の出場は登録した階級に限る。

エ　外国人留学生のチーム人員は１名以内とする。

（2）女子

ア　１校１チーム出場できる。

イ　チーム編成は監督１名、選手３名（先鋒から軽量級２名、無差別級１名）、補欠２名（軽量級１名、無差別級１名）の計６名とする。

ウ　体重区分は、軽量級 57kg 以下とする。ただし、補欠の出場は登録した階級に限る。

エ　外国人留学生のチーム人員は１名以内とする。

2　個人試合

（1）男　子

ア　男子個人試合は各地区大会の結果より、地区推薦の 64 名とする。
ただし、**東１１　西１７　南２０　北１６**とする。

イ　体重制限なし。

（2）女　子

ア　女子個人試合は各学校各階級８名までとする。

イ　体重区分は、７階級とする。［48kg、52kg、57kg、63kg、70kg、78kg、78kg 超］

ウ　女子団体試合は軽量級に出場し、個人試合を５７kg級より重い階級には出場できない。

（3）外国人留学生の参加人員の制限は設けない。

試合規程　1　審判は国際柔道連盟試合審判規程によって行う。

2　試合時間４分

3　優勢勝ちの判定基準は、「技有」または「僅差」（指導差２）の宣告を受けたときとする。団体試合の代表戦及び個人試合は「技有」または「僅差」（指導差２）の差がない場合は、延長戦（ゴールデンスコア方式・無制限）を行い、「技有」以上もしくは指導差が出た時点で勝敗を決定して、必ず勝敗を決める。

4　蟹挟みをかけることを禁止する。

5　延長戦で両者同時「反則負け」などで勝負がつかない場合の処置
個人試合および団体試合の代表戦において、両者反則負けの場合は得点板を（スコア）リセットして、ゴールデンスコア方式の延長戦で必ず勝敗を決する。

6　団体と個人は一連の試合とみなさない。

試合方法　1　団体試合

（1）参加チームによるトーナメント戦を行い、優勝チーム並びに関東大会出場男子８チーム・女子６チームを決める。

（2）各チーム間の試合は、点取り戦とする。

（3）トーナメント戦の勝敗の決定は次による。

ア　勝ち数の多いチームを勝ちとする。

イ　アで同等の場合は、「一本」による勝ち数の多いチームを勝ちとする。

ウ　イで同等の場合は、「技有」による優勢勝ち数の多いチームを勝ちとする。

エ　ウで同等の場合は、代表選手を自由に選出して代表戦を１回行う。

オ　代表戦は延長戦（ゴールデンスコア方式・無制限）を行い、必ず勝敗を決める。

（4）順位決定戦を行う。

ア　３・４位決定戦を行う。

イ　男子の５～８位の順位は、順位決定戦によって決める。

ウ　女子はベスト４に進出した学校に負けた学校を対象にダブル・レペチャージ方式の敗者復活戦を行い、５～６位校を決める。

２　個人試合

（1）男　子

体重無差別によるトーナメント戦およびベスト４が決まった時点からリーグ戦を行い優勝者並びに関東大会出場者２名を決める。

（2）女　子

体重別（７階級）によるトーナメント戦およびベスト４が決まった時点からリーグ戦を行い、優勝者並びに関東大会出場者各階級２名を決める。

（3）リーグ戦において必ず勝敗を決める。

（4）リーグ戦の順位の決定は次による。

ア　３勝・２勝１敗・１勝２敗・３敗の順とする。

イ　アで同等の場合は、「一本」による勝ち数の多い者を上位とする。

ウ　イで同等の場合は、「技有」による勝ち数の多い者を上位とする。

エ　ウで同等の場合は、「一本」による負け数の少ない者を上位とする。

オ　エで同等の場合は、「技有」による負け数の少ない者を上位とする。

カ　オで同等の場合は、直接対決の勝者を上位とする。

キ　ただし、ゴールデンスコア方式の延長戦における勝敗は、上記のイからオにあてはまらない。

ク　カで同等の場合は、同順位として表彰し、出場権、関東大会シード順位は抽選による。

表　　彰　　１　団体試合

（1）１位、２位に賞状並びに大会賞を授与する。３位（２校）、５位（男子４校、女子４校）に賞状を授与する。

（2）優勝校に、優勝杯を贈る。（次回大会に返還）

２　個人試合

１位、２位に賞状並びに大会賞を授与する。３位（２名）に賞状を授与する。

計　　量　　１　個　人　女子　５月５日（日）　9：00～10：00　第２会議室

（団体戦の計量と兼ねることができる）

２　団　体　男子　５月６日（月）　　9：00～10：00　屋内相撲場

女子　５月６日（月）　　9：15～10：15　第２会議室

（前日に計量して合格した者は受けなくてよい）

申込方法　　１　所定の用紙に記入し校長承認を得る。

（校長印並びに監督印のもれが無いように注意する。）

２　期　日

（1）持参　２０１９年５月　２日（木）　13：30～14:00

（2）郵送　２０１９年４月２６日（金）　17：00

３　申し込み先

（1）持参　代表者会議（埼玉県立武道館　柔道場）

（2）郵送　桶川西高等学校　久松　誉

※個人情報の取扱いについて

大会参加に際して提供される個人情報は本大会活動に利用するものとし、これ以外の目的に利用することはありません。

（詳しくは、埼玉県高等学校体育連盟個人情報保護指針を参照ください。）

組み合せ　　代表者会議で行う。

１　団体試合

（1）地区大会１位を、第１シードとする。（男女とも）

（2）地区大会２位を、第２シードとする。（男女とも）

（3）地区大会３位を、第３シードとする。（男子のみ）

（4）地区大会４位を、第４シードとする。（男子のみ）

（5）その他は、受付順に抽選を行う。

（6）郵送分は、専門部の委員が抽選を行う。

２　個人試合

（1）専門部の委員が、抽選を行う。

（2）地区推薦の第１・第２シード該当者をシードする。

但し、前年度同大会でベスト４の該当選手がいた場合は、上位２名が準決勝まで当たらない配慮をする。
例として：
①前年度１・２・３・４位が出場している　→　１・２を配慮する。
②前年度１・　３・４位が出場している　→　１・３を配慮する。
③前年度１・　４位が出場している　→　１・４を配慮する。

（３）地区大会に不出場で、中学時の全国大会等で実績のある者を、ベスト４シードとする検討が出来る。
（４）その他は、受付順に抽選を行う。（申し込み数の多い順）
（５）１校から２名の参加の場合は、決勝まで対戦しないように配慮する。
（６）１校から３～４名の参加の場合は、準決勝まで対戦しないように配慮する。
（７）１校から５～８名の参加の場合は、準々決勝まで対戦しないように配慮する。

注意事項　１　選手変更について
（１）申込み後に団体試合の選手に事故等が起きたときは、医師等の診断書、校長の証明書を添えて、男女とも５月６日の計量終了５分前までに大会本部に届け出ること。それ以降の選手の変更は認めない。なお、団体試合において正選手が事故で欠場の場合は、その場所にエントリーされた補欠を補充し、その後、補欠に新しい選手を補充するものとする。
（２）チームの出場順位の変更は認めない。
（３）参加申込後の選手の変更は、男子各階級１名・女子１名までとする。
（注）ただし、伝染病その他天災等による場合はこれを適用しない。
２　競技中に起きた疾病、傷害等の応急処置は主催者が行うが、その後の責任は負わない。なお、参加者は健康保険証の写しなどを持参すること。
３　選手は、必ず当該校引率責任者に引率され、引率責任者は選手すべての行動に対して責任を負うものとする。
４　引率責任者及び監督について
（１）引率責任者は当該校に勤務する教員、および校長から引率を委嘱された「部活動指導員」も可とする。但し、「部活動指導員」に引率を委嘱する校長は県高等学校体育連盟会長に事前に届け出ること。
※部活動指導員とは、学校教育法施行規則第 78 条の 2 に示されている者で、学校設置者により任用されている者をいう。
（２）監督については校長の認めた指導者とする。
５　選手はゼッケンをつけた柔道衣を着用し、無い者は失格とする。詳細は別に定める。
６　服装検査は、厳重に行う。
７　無届けで棄権した場合は、当該校の次回大会の出場権は認めないこともある。

そ の 他　１　２０１９年度第６７回関東高等学校柔道大会について
（１）日　　程　　２０１９年５月３１日（金）15：30　開会式
２０１９年６月　１日（土）　9：30　男女個人試合（２回戦まで）
男女団体試合（２回戦まで）
２０１９年６月　２日（日）　9：30　男女個人試合（決勝まで）
男女団体試合（決勝まで）
表彰式・閉会式

（２）参加資格
ア　団体
（ｱ）男子　県予選会上位８校が出場できる。
（ｲ）女子　県予選会上位６校が出場できる。
イ　個人
（ｱ）男子　県予選会上位２名が出場できる。
（ｲ）女子　県予選会各階級上位２名が出場できる。

（３）会　　場　〒371-0047 群馬県前橋市関根 800 番地
ALSOK ぐんまアリーナ　TEL027-234-1200　FAX027-234-1215

２　関東県予選会大会事務局
埼玉県高等学校体育連盟柔道専門部委員長　　鎌塚　智樹
埼玉県立川越高等学校内　〒350-0053
川越市郭町 2-6　TEL 049-222-0224　FAX 049-229-1051

２０１９年度学校総合体育大会兼
年度全国高等学校総合体育大会第６８回全国高等学校柔道大会埼玉県予選会

主　　催　　埼玉県教育委員会・埼玉県学校体育協会

後　　援　　（財）埼玉県体育協会

主　　管　　埼玉県高等学校体育連盟柔道専門部

期　　日　　２０１９年６月１２日（水）・６月１９日（水）～ ６月２０日（木）３日間

６月 12 日　８：00（競技・補助役員入館、6試合場設営、清掃、受付準備、補助役員打ち合わせ）
女子受付計量　９：00（女子選手入館、更衣：観覧席・更衣室、計量：第２会議室）
男子受付計量　９：15（男子選手入館、更衣：観覧席、計量：屋内相撲場）
応 援 入 館　９：45　もしくは選手入館後
女子計量終了　10：00
男子計量終了　10：15
審判打合せ　10：15
開　会　式　10：45
試　　合　11：10　男女個人試合（７階級決勝まで）
表　彰　式　16：30　男女個人試合
清 掃 終 了　17：30

６月 19 日　会 場 準 備　８：00（競技・補助役員入館、6試合場設営、清掃、受付準備、補助役員打ち合わせ）
男子団体受付　９：00（男子選手入館、更衣：観覧席・更衣室）
応 援 入 館　９：30　もしくは選手入館後
審判打合せ　10：00
開　始　式　10：30
試　　合　11：00　男子団体試合（ベスト１６まで）専門部主催個人試合
清 掃 終 了　16：00

６月 20 日　会 場 準 備　８：30（競技・補助役員入館、4試合場に畳設営変更、清掃、受付準備、補助役員打ち合わせ）
女子団体受付　８：45（女子選手入館、更衣：観覧席）
男子団体受付　９：00（男子選手入館、更衣：観覧席）
応 援 入 館　９：30　もしくは選手入館後
審判打合せ　９：30
開　始　式　10：15
試　　合　10：30　男女団体試合(決勝まで)
表　彰　式　15：30　男女団体試合
清 掃 終 了　16：30（最終確認）

会　　場　　埼玉県立武道館
〒 362-0032　上尾市日の出４－１８７７　℡ 048-777-2400

参加資格　１　選手は、学校教育法第１条に規定する高等学校に在籍する生徒であること。
２　選手は、埼玉県高等学校体育連盟に加盟している学校の生徒で、当該大会要項の参加資格を有するもの。
３　平成３１年度、全国大会の申し込みまでに埼玉県柔道連盟を経て、（財）全日本柔道連盟に登録を完了した者。
４　(１)年齢は平成１３年４月２日以降に生まれた者とする。ただし、同一競技は３回までとし、同一学年での出場は１回限りとする。
(２)特例として、この４号の(１)に定める年齢制限は、中国等帰国生徒については適用しない。
５　チームの編成において全日制課程・定時制課程・通信制課程・単位制課程の生徒による混成は認めない。
６　転校後６ヶ月未満の者は参加を認めない。(外国人留学生もこれに準ずる)ただし、一家転住等やむを得ない場合は、当該専門部長の認可があればこの限りではない。

7　参加する選手は、あらかじめ健康診断を受け、在学する校長の承認を必要とする。
8　参加資格の特例
（1）上記１、２に定める生徒以外で当該競技要項により大会参加資格を満たすと判断された生徒については、別途に定める規定に従い大会参加を認める。
（2）上記４（1）のただし書きについては、学年の区分を設けない課程に在籍する生徒の出場は、同一競技３回限りとする。
9　外国人留学生の参加については、卒業を目的として入学していること。（短期留学は認めない）

参加制限　1　団体試合
（1）１校１チーム出場できる。
（2）チームの人員は、男子については監督１名、選手５名、補欠１名の７名とする。
　　女子については監督１名、選手３名、補欠１名の５名とする。
（3）外国人留学生のチーム人員は１名以内とする。
2　個人試合
（1）　男子
ア　春季地区大会で、体重別の各階級でベスト８を基準に、推薦を受けた者。
　　但し、前年度全国高校総体出場者で階級変更のない者は別枠出場となる。
イ　体重区分は次の７階級とする。
　　[100kg 超級、100kg 級、90kg 級、81kg 級、73kg 級、66kg 級、60kg 級]
（2）　女子
　　体重区分は次の７階級とする。
　　[78kg 超級、78kg 級、70kg 級、63kg 級、57kg 級、52kg 級、48kg 級]
（3）２部個人試合は人数不足により団体試合に出場できない学校の生徒が出場できる。男子は他に 3 年生でインターハイ予選個人試合に出場できず、団体試合にも登録していない生徒が出場できる。
（4）選手は、団体試合と個人試合を兼ねてもよい。
（5）外国人留学生の参加人員の制限は設けない。

試合規程　1　審判は国際柔道連盟試合審判規程によって行う。
2　試合時間４分
3　優勢勝ちの判定基準は、「技有」または「僅差」（指導差２）の宣告を受けたときとする。団体試合の代表戦及び個人試合は「技有」または「僅差」（指導差２）の差がない場合は、延長戦（ゴールデンスコア方式・無制限）を行い、「技有」以上もしくは指導差が出た時点で勝敗を決定して、必ず勝敗を決める。
4　蟹挟みをかけることを禁止する。
5　延長戦で両者同時「反則負け」などで勝負がつかない場合の処置
　個人試合および団体試合の代表戦において、両者反則負けの場合は得点板を（スコア）リセットして、ゴールデンスコア方式の延長戦で必ず勝敗を決する。
6　団体と個人は一連の試合とみなさない。

」試合方法　1　団体試合
（1）参加チームによるトーナメント戦を行ない、優勝チームを決める。
（2）各チーム間の試合は、点取り戦とする。
（3）トーナメント戦の勝敗の決定は次による。
ア　勝ち数の多いチームを勝ちとする。
イ　アで同等の場合は、「一本」による勝ち数の多いチームを勝ちとする。
ウ　イで同等の場合は、「技有」による優勢勝ち数の多いチームを勝ちとする。
エ　ウで同等の場合は、代表選手を自由に選出して代表戦を行う。
オ　代表戦が引き分けの場合は、延長戦（ゴールデンスコア方式・無制限）を行い、必ず勝敗を決める。
2　個人試合　体重別（７階級）によるトーナメント戦を行ない優勝者並びに全国大会出場者を決める。

表　　彰　1　団体試合
（1）１位、２位に賞状並びに大会賞を授与する。３位（２校）に賞状を授与する。

（2）優勝校に、優勝杯を贈る。（次回大会に返還）
2　個人試合
（1）1位、2位に賞状並びに大会賞を授与する。3位（2名）に賞状を授与する。
（2）優勝者に、優勝杯を贈る。（次回大会に返還）

計　　量　個人試合のみ計量を行う。
6月12日（水）　女子 9：00～10：00　第2会議室
男子 9：15～10：15　屋内相撲場

申込方法　1　所定の用紙に記入し校長承認を得る。
（校長印並びに監督印のもれが無いように注意する。）
2　期　日
（1）持参　２０１９年6月7日（金）　13：30～14：00
（2）郵送　２０１９年6月4日（水）　17：00
3　申し込み先
（1）持参　代表者会議（埼玉県立武道館　柔道場）
（2）郵送　桶川西高等学校　久松　誉
※個人情報の取扱いについて
大会参加に際して提供される個人情報は本大会活動に利用するものとし、これ以外の目的に利用することはありません。
（詳しくは、埼玉県高等学校体育連盟個人情報保護指針を参照ください。）

組み合せ　代表者会議で行う。
1　団体試合
（1）前年度県新人大会1位を、第1シードとする。
（2）前年度県新人大会2位を、第2シードとする。
（3）前年度県新人大会3位を、第3シードとする。
（4）前年度県新人大会4位を、第4シードとする。
（5）前年度県新人大会5位（4校）を、第5シードとする。
（6）その他は、受付順に抽選を行う。
（7）郵送分は、専門部の委員が抽選を行う。
2　個人試合（男女）
（1）専門部の委員が、抽選を行う。
（2）春季地区大会個人試合各階級第1優先者を第1シードとする。
（3）春季地区大会個人試合各階級第2優先者を第2シードとする。
（4）その他は、受付順に抽選を行う。
（5）1校から2名の参加の場合は、決勝まで対戦しないように配慮する。
（6）1校から3～4名の参加の場合は、準決勝まで対戦しないように配慮する。
（7）1校から5～8名の参加の場合は、準々決勝まで対戦しないように配慮する。

注意事項　1　選手変更について
（1）申込み後に団体試合の選手に事故等が起きたときは、医師等の診断書、校長の証明書を添えて、男女とも試合当日の審判打合せ前までに大会本部に届け出ること。それ以降の選手の変更は認めない。なお、団体試合において正選手が事故で欠場の場合は、その場所にエントリーされた補欠を補充し、その後、補欠に新しい選手を補充するものとする。
（2）男子・女子ともチームの出場順位の変更は認めない。
（3）参加申込後の選手の変更は、男子1名・女子1名を限度とする。
（注）ただし、伝染病その他天災等による場合はこれを適用しない。
2　競技中に起きた疾病、傷害等の応急処置は主催者が行うが、その後の責任は負わない。なお、参加者は健康保険証の写しなどを持参すること。
3　選手は、必ず当該校引率責任者に引率され、引率責任者は選手すべての行動に対して責任を負うものとする。
4　引率責任者及び監督について
（1）引率責任者は当該校に勤務する教員、および校長から引率を委嘱された「部活動指導員」も可とする。但し、「部活動指導員」に引率を委嘱する校長は県高等学校

体育連盟会長に事前に届け出ること。
※部活動指導員とは、学校教育法施行規則第 78 条の 2 に示されている者で、学校設置者により任用されている者をいう。
(2)監督については校長の認めた指導者とする。
5　選手はゼッケンをつけた柔道衣を着用する。詳細は別に定める。
6　服装検査は、厳重に行う。
7　無届けで棄権した場合は、当該校の次大会の出場権は認めないこともある。

その他　1　２０１９年度第６８回全国高等学校柔道大会について
(1)日　程　２０１９年８月　９日（金）９：００　開会式
男子団体試合(ﾄｰﾅﾒﾝﾄ３回戦まで)
２０１９年８月１０日（土）９：００　男子団体試合(決勝まで･表彰式)
男子個人試合(60･66･73kg 級･表彰式)
２０１９年８月１１日（日）９：００　男子個人試合
(81･90･100･100kg 超級・表彰式)
女子開始式
女子団体試合(ﾄｰﾅﾒﾝﾄ２回戦まで)
２０１９年８月１２日（月）９：００　女子団体試合
(決勝まで･表彰式)
女子個人試合
(48･52･57kg 級・表彰式)
２０１９年８月１３日（火）９：００　女子個人試合
(63･70･78･78kg 超級・表彰式)閉会式
(2)参加資格　ア　団体　県予選会優勝校が出場できる。
イ　個人　県予選会各階級優勝者が出場できる。
(3)会　　場　鹿児島アリーナ
〒890-0023　鹿児島鹿児島市永吉 1 丁目 30 番 1 合
TEL 099-285-2244　FAX 099-258-4570

2　全国大会県予選会大会事務局
埼玉県高等学校体育連盟柔道専門部委員長　鎌塚　智樹
埼玉県立川越高等学校内　〒350-0053
川越市郭町 2-6　TEL 049-222-0224　FAX 049-229-1051

２０１９年度県民総合体育大会兼埼玉県高等学校新人大会柔道競技

主　　催　　埼玉県高等学校体育連盟・埼玉県教育委員会・（財）埼玉県体育協会

主　　管　　埼玉県高等学校体育連盟柔道専門部

期　　日　　２０１９年１１月１９日（火）～ １１月２０日（水）２日間

11 月 19 日 会 場 準 備　 8：00（競技･補助役員入館、6試合場設営、清掃、受付準備、補助役員打ち合わせ）
男子団体受付　9：00（男子選手入館、更衣：観覧席・更衣室）
応 援 入 館　9：30　もしくは選手入館後
審 判 打 合 せ　10：00
開　始　式　10：30
試　　合　11：00　男女個人試合・男子団体試合（ベスト１６まで）
清 掃 終 了　15：30

11 月 20 日 会 場 準 備　 8：30　（競技･補助役員入館、4試合場設営、清掃、受付準備、補助役員打ち合わせ）
女 子 受 付　9：00（女子選手入館、更衣：観覧席）
男 子 受 付　9：15（男子選手入館、更衣：観覧席）
応 援 入 館　9：45　もしくは選手入館後
審 判 打 合 せ　9：45
開　始　式　10：15
試　　合　10：30　男女団体試合(決勝まで)
表　彰　式　15：30　男女団体試合
清 掃 終 了　16：30（最終確認）

会　　場　　埼玉県立武道館
〒 362-0032　上尾市日の出４－１８７７　℡ 048-777-2400

参加資格　１　選手は、学校教育法第１条に規定する高等学校に在籍する生徒であること。
２　選手は、埼玉県高等学校体育連盟に加盟している学校の生徒で、当該大会要項の参加資格を有するもの。
３　平成３０年度、埼玉県柔道連盟を経て、（財）全日本柔道連盟に登録を完了した者。
４　(１)年齢は平成１３年４月２日以降に生まれた者とする。ただし、同一競技は３回までとし、同一学年での出場は１回限りとする。
(２)特例として、この４号の(１)に定める年齢制限は、中国等帰国生徒については適用しない。
５　チームの編成において全日制課程・定時制課程・通信制課程・単位制課程の生徒による混成は認めない。
６　転校後６ヶ月未満の者は参加を認めない。(外国人留学生もこれに準ずる。)ただし、一家転住等やむを得ない場合は、当該専門部長の認可があればこの限りではない。
７　参加する選手は、あらかじめ健康診断を受け、在学する校長の承認を必要とする。
８　参加資格の特例
(１)上記１、２に定める生徒以外で当該競技要項により大会参加資格を満たすと判断された生徒については、別途に定める規定に従い大会参加を認める。
(２)上記４(１)のただし書きについては、学年の区分を設けない課程に在籍する生徒の出場は、同一競技３回限りとする。
９　外国人留学生の参加については、卒業を目的として入学していること。（短期留学は認めない)

参加制限　１　団体試合
(１)１校１チーム出場できる。
(２)チームの人員は、男子については監督１名、選手５名、補欠２名の８名とする。女子については監督１名、選手３名、補欠１名の５名とする。
(３)外国人留学生のチーム人員は１名以内とする。
２　個人試合（男子・女子)
(１)この県新人大会で、団体試合に人数不足で出場できない学校の選手のみとする。
(２)該当学校で男子２名以内。女子１名とする。
(３)体重制限なし。
(４)外国人留学生の参加人員の制限は設けない。

試合規程　１　審判は国際柔道連盟柔道試合審判規程によって行う。

２　試合時間４分
３　優勢勝ちの判定基準は、「技有」または「僅差」（指導差２）の宣告を受けたときとする。団体試合の代表戦及び個人試合は「技有」または「僅差」（指導差２）の差がない場合は、延長戦（ゴールデンスコア方式・無制限）を行い、「技有」以上もしくは指導差が出た時点で勝敗を決定して、必ず勝敗を決める。
４　蟹挟みをかけることを禁止する。
５　延長戦で両者同時「反則負け」などで勝負がつかない場合の処置
個人試合および団体試合の代表戦において、両者反則負けの場合は得点板を（スコア）リセットして、ゴールデンスコア方式の延長戦で必ず勝敗を決する。

試合方法　１　団体試合
（1）参加チームによるトーナメント戦を行い、優勝チームを決める。
（2）各チーム間の試合は、点取り戦とする。
（3）トーナメント戦の勝敗の決定は次による。
ア　勝ち数の多いチームを勝ちとする。
イ　アで同等の場合は、「一本」による勝ち数の多いチームを勝ちとする。
ウ　イで同等の場合は、「技有」による優勢勝ち数の多いチームを勝ちとする。
エ　ウで同等の場合は、代表選手を自由に選出して代表戦を１回行う。
オ　代表戦が引き分けの場合は、延長戦（ゴールデンスコア方式・無制限）を行い、必ず勝敗を決める。
カ　３位・４位決定戦を行う。
２　個人試合
（1）男子　体重無差別によるトーナメント法で行う。
（2）女子　体重無差別によるトーナメント法で行う。
（ただし、参加人数が５名以下の場合は、リーグ法で行う。）

表　　彰　１　団体試合
（1）１位、２位に賞状並びに大会賞を授与する。３位（２校）に賞状を授与する。
（2）優勝校に、優勝杯を贈る。（次回大会に返還）
２　個人試合
１位、２位、３位（２名）に賞状を授与する。

申込方法　１　所定の用紙に記入し校長承認を得る。
（校長印並びに監督印のもれが無いように注意する。）
２　期　日
（1）持参　２０１９年１１月１６日（金）　14：30～15：00
（2）郵送　２０１９年１１月１４日（水）　17：00
３　申し込み先
（1）持参　代表者会議（埼玉県立武道館　柔道場）
（2）郵送　桶川西高等学校　久松　誉
※個人情報の取扱いについて
大会参加に際して提供される個人情報は本大会活動に利用するものとし、これ以外の目的に利用することはありません。
（詳しくは、埼玉県高等学校体育連盟個人情報保護指針を参照ください。）

組み合せ　代表者会議で行う。
１　団体試合
（1）地区大会１位を、第１シードとする。
（2）地区大会２位を、第２シードとする。
（3）その他は、受付順に抽選を行う。
（4）郵送分は、専門部の委員が抽選を行う。
２　個人試合
（1）専門部の委員が、抽選を行う。
（2）男子
ア　秋季地区大会各階級１～３位の該当者を、シードする。
イ　１校から２名の参加の場合は、決勝まで対戦しないように配慮する。
（3）女子　秋季地区大会各階級１～３位の該当者を、シードする。

注意事項　１　選手変更について

（1）申込み後に団体試合の選手に事故等が起きたときは、医師等の診断書、校長の証明書を添えて、男女とも試合当日審判打合せ前までに、大会本部に届け出ること。それ以降の選手の変更は認めない。なお、団体試合において正選手が事故で欠場の場合は、その場所にエントリーされた補欠を補充し、その後、補欠に新しい選手を補充するものとする。ただし、男子はその場所にエントリーされた補欠①を補充し、その後、補欠①に補欠②を補充する。さらに、新しい選手を補欠②に補充するものとする。

（2）チームの出場順位の変更は認めない。

（3）参加申込後の選手の変更は、男子１名・女子１名を限度とする。

（注）ただし、伝染病その他天災等による場合はこれを適用しない。

2　競技中に起きた疾病、傷害等の応急処置は主催者が行うが、その後の責任は負わない。なお、参加者は健康保険証の写しなどを持参すること。

3　選手は、必ず当該校引率責任者に引率され、引率責任者は選手すべての行動に対して責任を負うものとする。

4　引率責任者及び監督について

（1）引率責任者は当該校に勤務する教員、および校長から引率を委嘱された「部活動指導員」も可とする。但し、「部活動指導員」に引率を委嘱する校長は県高等学校体育連盟会長に事前に届け出ること。

※部活動指導員とは、学校教育法施行規則第 78 条の 2 に示されている者で、学校設置者により任用されている者をいう。

（2）監督については校長の認めた指導者とする。

5　選手はゼッケンをつけた柔道衣を着用する。詳細は別に定める。

6　服装検査は、厳重に行う。

7　無届けで棄権した場合は、当該校の次大会の出場権は認めないこともある。

その他　1　平成３１年度全国大会県予選会のシード権について

（1）新人大会で１位を、第１シードとする。

（2）新人大会で２位を、第２シードとする。

（3）新人大会で３位を、第３シードとする。

（4）新人大会で４位を、第４シードとする。

（5）新人大会で５位（４校）を、第５シードとする。

2　県新人大会事務局

埼玉県高等学校体育連盟柔道専門部委員長　　鎌塚　智樹
埼玉県立川越高等学校内　〒350-0053
川越市郭町 2-6　TEL 049-222-0224　FAX 049-229-1051

２０１９年度埼玉県高等学校柔道選手権大会兼第４２回全国高等学校柔道選手権大会埼玉県大会

主　　催　　埼玉県柔道連盟・埼玉県高等学校体育連盟

主　　管　　埼玉県高等学校体育連盟柔道専門部

日　　程　　２０２０年1月１２日（日）・1月１３日（月）２日間

1月 12 日 会 場 準 備　8：00（競技･補助役員入館、6試合場設営、清掃、受付準備、補助役員打ち合わせ）
女子受付計量　9：00（女子選手入館、更衣：観覧席・更衣室、計量：第２会議室）
男子受付計量　9：00（男子選手入館、更衣：観覧席、計量：屋内相撲場）
応 援 入 館　9：45　もしくは選手入館後
男女計量終了　10：00
審 判 打 合 せ　10：00
開　会　式　10：30
試　　合　11：00　男女個人試合（５階級決勝まで）
表　彰　式　14：30　男女個人試合
清 掃 終 了　15：30

1月 13 日 会 場 準 備　8：00（競技･補助役員入館、4試合場置設営、清掃、受付準備、補助役員打ち合わせ）
女子団体受付　9：00（女子選手入館、更衣：観覧席・更衣室、計量：第２会議室）
男子団体受付　9：15（男子選手入館、更衣：観覧席）
応 援 入 館　9：30　もしくは選手入館後
審 判 打 合 せ　9：45
開　始　式　10：15
試　　合　10：45　男女団体試合（決勝まで）
表　彰　式　16：00　男子団体試合
清 掃 終 了　17：00　（最終確認）

会　　場　　埼玉県立武道館
〒 362-0032　上尾市日の出４－１８７７　℡ 048-777-2400

参加資格　１　選手は学校教育法第１条に規定する高等学校に在籍する生徒であること。
２　埼玉県高等学校体育連盟に加盟している学校の生徒で、当該大会要項の参加資格を有するもの。
３　２０１９年度、埼玉県柔道連盟を経て、（財）全日本柔道連盟に登録を完了した者。
４　(1) 平成１３年４月２日以降に生まれた者(平成３１年４月２日現在で、18 歳未満の者)ただし、同一学年での出場は１回限りとする。
(2) 特例として、この４号の(1)に定める年齢制限については、中国等帰国生徒については適用しない。
５　チームの編成において全日制課程・定時制課程・通信制課程・単位制課程の生徒による混成は認めない。
６　転校後６ヶ月未満の者は参加を認めない。(外国人留学生もこれに準ずる)ただし、一家転住等やむを得ない場合は、当該専門部長の認可があればこの限りではない。
７　参加する選手は、あらかじめ健康診断を受け、在学する校長の承認を必要とする。
８　参加資格の特例
(1) 上記１、２に定める生徒以外で当該競技要項により大会参加資格を満たすと判断された生徒については、別途に定める規定に従い大会参加を認める。
(2) 上記４(1)のただし書きについては、学年の区分を設けない課程に在籍する生徒の出場は、同一競技２回限りとする。
９　外国人留学生の参加については、卒業を目的として入学していること。（短期留学は認めない）
10　統廃合等の対象校の大会参加に関わる特別処置について
統廃合等の対象となる学校については、当該校を含む合同チームによる大会参加を認める。

参加制限　１　団体試合
(1) 男子
ア　１校１チーム基準とする。
イ　チームの編成は、監督１名、選手６名の７名とする。
(2) 女子
ア　１校１チームを基準とする。
イ　チームの編成は、監督１名・選手３名・補欠２名の６名とする。ただし、補欠

については、２名に満たなくても可とする。
ウ　体重区分はつぎのとおりとする。
［先鋒：52kg 以下、中堅：63kg 以下、大将：無差別］なお、体重の軽い者は重い階級に出場できる。また、補欠は該当する階級に出場できる。
エ　計量にパスしない者は出場できない。
(3) 外国人留学生のチーム人員は１名以内とする。
2　個人試合
(1) 男子
ア　秋季地区大会等で、推薦を受けた各階級８名の者。
但し、前年度全国高校選手権大会出場者で階級変更のない者は別枠出場となる。
イ　体重区分は次の５階級とする。
［60kg 級、66kg 級、73kg 級、81kg 級、無差別級］
(2) 女子
ア　各学校各階級８名までとする。
イ　体重区分は次の５階級とする。
［48kg 級、52kg 級、57kg 級、63kg 級、無差別級］
(3) 選手は、団体試合と個人試合を兼ねてもよい。
(4) 外国人留学生の参加人員の制限は設けない。

試合規程　1　国際柔道連盟試合審判規程による。
2　試合時間は男女団体・個人ともに３分とする。ただし、団体の決勝は４分とする。
3　優勢勝ちの判定基準は、「技有」または「僅差」（指導差２）の宣告を受けたときとする。団体試合の代表戦及び個人試合は「技有」または「僅差」（指導差２）の差がない場合は、延長戦（ゴールデンスコア方式・無制限）を行い、「技有」以上もしくは指導差が出た時点で勝敗を決定して、必ず勝敗を決める。
4　蟹挟みをかけることを禁止する。
5　延長戦で両者同時「反則負け」などで勝負がつかない場合の処置
個人試合および団体試合の代表戦において、両者反則負けの場合は得点板を（スコア）リセットして、ゴールデンスコア方式の延長戦で必ず勝敗を決する。
6　団体と個人は一連の試合とみなさない。

試合方法　1　団体試合
(1) 男子
ア　参加チームによるトーナメント戦を行い、優勝チームを決める。
イ　各チーム間の試合は、勝ち抜き戦とする。
ウ　イで同等の場合は、代表選手を自由に選出して代表戦を１回行う。
エ　代表戦が引き分けの場合は、延長戦（ゴールデンスコア方式・無制限）を行い、必ず勝敗を決める。
オ　試合は各チーム５名で行い、試合ごとのオーダーの変更を認める。
(2) 女子
ア　参加チームによるトーナメント法を行い、優勝チームを決める。
イ　各チーム間の試合は点取り試合とし、勝ち数の多いチームを勝ちとする。
ウ　イで同等の場合は、「一本」による勝ち数の多いチームを勝ちとする。
エ　ウで同等の場合は、「技有」による優勢勝ち数の多いチームを勝ちとする。
オ　エで同等の場合は、引き分けの試合から抽選で選出された両者によってゴールデンスコア方式で代表戦を１回行う。
カ　試合は各チーム３名で行い、試合ごとのオーダーの変更は行わない。
2　個人試合　体重別（５階級）によるトーナメント戦を行ない優勝者並びに全国大会出場者を決める。

表　　彰　1　団体試合
（1）1位、2位、3位（2校）に賞状並びに埼玉県柔道連盟会長楯を授与する。
（2）優勝校に、埼玉県柔道連盟会長杯を授与する。（次回大会返還）
2　個人試合
1位、2位、3位（2名）に賞状並びに埼玉県柔道連盟会長楯を授与する。

計　　量　1　個　人　　1月 12 日（日）　女子　9：00 ～ 10：00　第２会議室
男子　9：15 ～ 10：15　屋内相撲場
2　団　体　　1月 13 日（月）　女子のみ 9：00 ～ 10：00　第２会議室

申込方法　１　所定の用紙に記入し校長承認を得る。
（校長印並びに監督印のもれが無いように注意する。）
２　期　日
(1) 持参　２０２０年１月７日（月）　13：30～14：00
(2) 郵送　２０２０年１月４日（金）　17：00
３　申し込み先
（1）持参　代表者会議（埼玉県立武道館　柔道場）
（2）郵送　桶川西高等学校　久松　誉
※個人情報の取扱いについて
大会参加に際して提供される個人情報は本大会活動に利用するものとし、これ以外の目的に利用することはありません。
（詳しくは、埼玉県高等学校体育連盟個人情報保護指針を参照ください。）

組み合せ　代表者会議で行う。
１　団体試合
(1) 地区大会１位を、第１シードとする。
(2) 地区大会２位を、第２シードとする。
(3) その他は、受付順に抽選を行う。
(4) 郵送分は、専門部の委員が抽選を行う。
２　個人試合（男女）
(1) 専門部の委員が、抽選を行う。
(2) 各地区の各階級の推薦順位の第１位を第１シードとする。
(3) 各地区の各階級の推薦順位の第２位を第２シードとする。
(4) その他は、受付順に抽選を行う。
(5) 同一校の選手が１回戦であたらないよう配慮する。

注意事項　１　選手変更について
(1) 申込み後に団体試合の選手に事故等が起きたときは、医師等の診断書、校長の証明書を添えて、試合当日審判打合せ終了までに大会本部に届け出ること。それ以降の選手の変更は認めない。
(2) 参加申込後の選手の変更は、１名までとする。
ただし、伝染病その他天災等による場合はこれを適用しない。
２　競技中に起きた疾病、傷害等の応急処置は主催者が行うが、その後の責任は負わない。なお、参加者は健康保険証の写しなどを持参すること。
３　選手は、必ず当該校引率責任者に引率され、引率責任者は選手すべての行動に対して責任を負うものとする。
４　引率責任者及び監督について
（1）引率責任者は当該校に勤務する教員、および校長から引率を委嘱された「部活動指導員」も可とする。但し、「部活動指導員」に引率を委嘱する校長は県高等学校体育連盟会長に事前に届け出ること。
※部活動指導員とは、学校教育法施行規則第 78 条の 2 に示されている者で、学校設置者により任用されている者をいう。
（2）監督については校長の認めた指導者とする。
５　選手はゼッケンをつけた柔道衣を着用する。詳細は別に定める。
６　服装検査は、厳重に行う。
７　無届けで棄権した場合は、当該校の次大会の出場権は認めないこともある。

そ の 他　１　第４２回全国高等学校柔道選手権大会について（ALSOK ぐんまアリーナ）
(1) 日　　程　　２０２０年３月２１日（土）日本武道館　男子・女子個人試合
２０２０年３月２２日（日）日本武道館　男子・女子団体試合
(2) 参加資格
ア　団体　　男子：優勝校が出場できる。
女子：優勝校が出場できる。
イ　個人　　優勝者が出場できる。
２　県選手権大会事務局
埼玉県高等学校体育連盟柔道専門部委員長　　鎌塚　智樹
埼玉県立川越高等学校内　〒350-0053
川越市郭町 2-6　TEL 049-222-0224　FAX 049-229-1051

審判・監督に関する申し合わせ事項

（関東・全国・新人・選手権の大会で異なる部分のみ、太字ゴシック体で表示）

(1) 審判について

ア　試合は国際柔道連盟試合審判規定による。

イ　団体試合の主審は、交代して務める。（男子団体：２試合　女子団体：１試合）

ウ　あらかじめ定める事項

(ｱ) 試合時間

関　東・全　国・新　人　すべて４分とする。

選手権　　３分。ただし、男女団体決勝は４分とする。

(ｲ) 優勢勝ちの判定基準は、「技有」または「僅差」（指導差２）の宣告を受けたときとする。団体試合の代表戦及び個人試合は「技有」または「僅差」（指導差２）の差がない場合は、延長戦（ゴールデンスコア方式・無制限）を行い、「技有」以上もしくは指導差が出た時点で勝敗を決定して、必ず勝敗を決める。

(ｳ) 蟹挟みをかけることを禁止する。

(ｴ) 延長戦で両者同時「反則負け」などで勝負がつかない場合の処置
個人試合および団体試合の代表戦において、両者反則負けの場合は得点板を（スコア）リセットして、ゴールデンスコア方式の延長戦で必ず勝敗を決する。

エ　申し合わせ事項

(ｱ) 禁止事項を犯した場合の反則の適用は厳格に行う。

(ｲ) 危険と思われる場合は、機を失わせず「待て」の宣告をし、傷害事故を未然に防ぐようにする。

(ｳ) 内股、払い腰、跳ね腰等で頭から突っ込んだ場合は、反則負けとする。

(ｴ) 反則を与える場合は、確認のために「指導」から合議することもできる。

(ｵ) 団体試合における一連の出場について

a　「不戦」によって「負け」になった試合者は、その後の一連の試合に出場することができない。

b「棄権」によって「負け」になった試合者は、その後の一連の試合に出場することができる。

※国際規定で相手に「棄権勝ち」が与えられ、負けとなるケース

１）試合の途中で、試合者の柔道衣の衛生状態が悪いとき
２）試合の途中で、規定に反した柔道衣を身につけているとき（ゼッケンの企画を含む）
３）試合の途中で、女子のシャツが無地でない等、規定に反していたとき
４）試合の途中で、負傷した選手に医師が認められない処置・行為をしたとき
５）試合の途中で、負傷した選手が医師を呼ぶことを申し出たとき
６）試合の途中で、同じ部位から３回目の出血があったとき
７）試合の途中で、出血が治まらず覆われていない
８）試合の途中で、指の脱臼は自らが復することが認められるが、同じ脱臼が３回目のとき
９）試合の途中で、試合者が嘔吐したとき
10）試合の途中で、コンタクトレンズを落とし、コンタクトレンズなしで試合続行できないと主審に伝えたとき

c　「反則負け」となった試合者は、その後の一連の試合に出場することができる。ただし、上記「ウ　申し合わせ事項　(ｳ)内股、払い腰、跳ね腰等で頭から突っ込んだ場合は、反則負けとする。」で反則負けとなった試合者は、その後の一連の試合に出場することができない。
関東・全国・選手権　※　団体試合と個人試合は一連の試合とは考えない。

(ｶ) 団体試合・個人試合とも、試合開始時１分間隔で３回（合計２分間）呼び出しても試合場に現れない場合は棄権とみなし、相手に「不戦勝ち」が与えられる。（IJF では 30 秒）
団体試合の場合の処置。

(a) １名遅刻したときは１名を棄権とする。

(b) ２名遅刻したときは２名を棄権とする。女子については、２名以上遅刻したときはチームを失格とする。

(c) ３名以上遅刻したときはチームを失格とする。

(ｷ) 両者同時「反則負け」などの扱いについて

a　団体試合の代表戦における扱い

(a) 両者同時「反則負け」を得た場合は、直ちに延長戦を行う。

(b) 延長戦において両者同時「反則負け」および「両者同時一本」の場合は、得点板を（スコア）リセットして、ゴールデンスコア方式の延長戦で必ず勝敗を決する。

b　団体試合の代表戦以外における扱い

(a) 両者同時「反則負け」を得た場合は、両者負けとして扱う。※記録上も両者「負け」として扱う。

(b) 「両者同時一本」の場合は「引き分け」とし、再試合は行わない。※記録上も「引き分け」として扱う。

c　個人試合における扱い

(a) 両者同時「反則負け」を得た場合は、直ちに延長戦を行う。

(b) 延長戦において両者同時「反則負け」および「両者同時一本」の場合は、得点板をリセットして、再試合を行い必ず勝敗を決する。

(ｸ) 団体試合において、オーダーを誤って試合を行った場合の処置については、以下のように取り扱う。

a　試合途中（団体試合の終わりの合図の後、審判員が試合場から退場するまでの時間までの時間を含む）で発覚した場合

関東・全国・新人戦

(1) 誤って試合をした選手と、それに伴って変更した選手については負けとし、オーダーを元に戻して正しいオーダーで試合を実施する。

(2) 故意にオーダーを変更した場合は、そのチームを負けとし、今後の指導については、埼玉県高体連柔道専門部で検討する。

b　試合後（審判員が試合場から退場）に発覚した場合

試合審判規定第 19 条の通り、指示した結果については変更できない。ただし、今後の指導については、埼玉県高体連柔道専門部で検討する。

選手権　試合途中（試合の始まりから試合が成立するまでの間）で発覚した場合、そのチームを失格とする。

※女子団体試合で選手と補欠を入れ替える選手変更の手続きをしないまま誤って試合を始めてしまった場合の措置については、全国高等学校柔道選手権大会実行委員会での検討事項となっている。が、県専門部としては申し合わせ事項として、誤って出場した選手を負けとし、チームが勝った場合は以降の試合に出場できないとする。（検討事項）

(ｹ) 試合中、審判に意見を言う監督に対して

三人の審判で合議し、その監督に対して言動を慎むように注意をし、なお続くならばその監督を退場させる。その上で、監督のいないチームの試合を没収する。

(ｺ) 審判員の明らかに誤った「勝者の指示」があり、その試合が終了、成立してしまった場合の処置として、監督は審判員にその旨を申し出ることができる。

(ｻ) 個人試合において、次の試合までの間隔は試合時間分とする。

オ　選手に対する指導事項

(ｱ) 服装（柔道衣）は出場前に十分点検し、規定外の柔道衣は着用させないこと。

(ｲ) 「柔道試合」における礼法を守ること。礼法は「礼法のガイド」に従うこと。

a　立礼は正しくすること。

(a) 「お願いします」などの発声はさせないように指導すること。

(b) 試合終了後の立礼は正しく、また、負けた選手もおろそかにさせないこと。

(c) 審判員はそれを見逃さないこと。悪ければ礼法をやり直させること。

b　服装の乱れは、組み姿勢でない時間を利用し、選手自ら直すように指導すること。

(ｳ) 「試合中」または「試合の中断時」に監督の方を向いていて、審判員の指示に従わないような行動をさせないこと。

(ｴ) 試合直前に選手の腰部を叩く行為をしないように注意すること。

(ｵ) ガッツポーズ等はさせないこと。

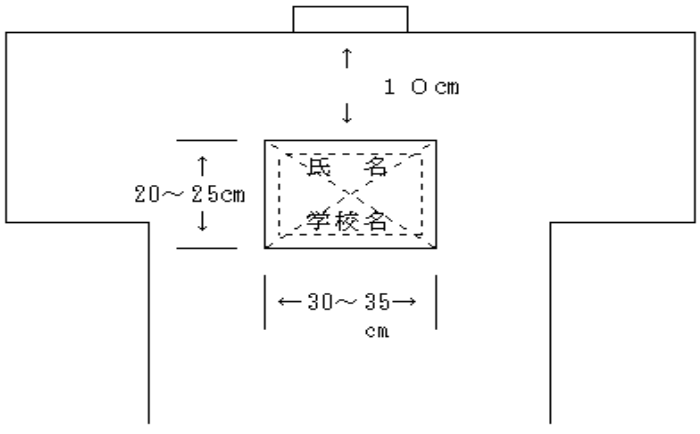
(ｶ) 頭髪の染色・そり込み・ひげ等については、全柔連・全国高体連柔道専門部・関東高体連柔道専門部からの指示により、注意すること。

(ｷ) ウォークマン等はアリーナ内では使用しないこと。

カ　その他
(ｱ) 柔道衣のコントロールは行わない。
(ｲ) 礼法は「礼法のガイド」に従っておこなう。
(2) 監督について
ア　監督の服装は、審判に準ずる。（ジャージは不可）
イ　監督は、自校の試合に必ず同席すること。監督不在の場合は、没収試合とする。
ウ　団体試合において代表戦となった場合は、監督は当該審判員の副審に速やかに選手名を申し出る。確認後、掲示し試合を開始する。
エ　審判への暴言は監督の退場処分とし、その試合は没収試合とする。その後の指導は、専門部委員会で審議する。
(3) 審判員の心得
ア　一般的な注意事項
(ｱ) 規定（附則、適用含む）の研究を怠らないこと。（問題が生じた場合は、主審、副審の３者で合議決定する。）
(ｲ) 審判上の事例を材料に、互いに検討しあい適切な取り扱い方を把握しておく。
(ｳ) 公正、真剣、平静であること。言語は明瞭に、動作は適切に。
(ｴ) 審判終了後、反省し研究すること。
(ｵ) 服装について（ａ上着、ｂズボン、ｃＹシャツ、ｄネクタイ、ｅ靴下、ｆエンブレム）
イ　主審の心得
(ｱ) 試合者と適当な距離、位置を考え両者の動作をよく見、副審の視野を妨げない位置をとる。
(ｲ) 試合前の態度に指導すべき点があれば適時に指導し、公正、最善を尽くすよう監督あるいは試合者を矯正する。
(ｳ) 判定結果（宣告、指示、宣言）は、試合者は勿論、副審、関係役員及び観衆にも判るように明瞭に発声し、ジェスチャーを併用する。（３秒）
ウ　副審の心得
(ｱ) 主審になった気持ちでよく見ること。
(ｲ) 椅子に深々と腰を落としたり、組足をしたりしないこと。
(ｳ) 他の試合に気を取られて、担当の試合を忘れないこと。

大会参加に関する申し合わせ事項

1　参加資格に違反した場合、チームを失格とする。
　以降の処置については、専門部常任委員会等で審議し、対処する。
2　参加制限について
（1）男子団体試合は3名から出場できる。
（2）女子団体試合は2名から出場できる。
3　選手変更の手続きについて
（1）選手変更の必要が生じた場合
　ア　本部席に行き、選手変更届に必要事項を記入する。
　イ　選手変更届を本部に提出し、承認印をもらう。
　ウ　変更届は、本部が試合開始までに各試合場の補助役員に提出し、オーダーの変更を行う。
　エ　試合開始までに手続きを行わなかった場合、該当選手（変更前と後の選手）は失格とする。
　オ　大会終了後については、チームを失格とする。
　カ　怪我等で棄権した場合は、その事項を監督は選手変更係へ届け出る。
（2）県新人大会での補欠選手の変更について
　ア　大会申込書に記入してある、補欠１の選手より補充する。
　イ　以上の手続きを行わなかった場合、該当選手（変更前と後の選手）は失格とする。
4　試合開始について
（1）団体試合開始時に、参加申込選手が揃っていない場合
　ア　各大会の審判・監督打ち合わせ事項による。
　イ　個人試合についても、同様とする。
　ウ　試合会場が変更になった場合は、考慮する。
（2）連続した試合におけるインターバルの取扱いについて
　連続した試合において試合者が休息できる時間は、その大会で定められた試合時間とする。
　団体戦並びに代表戦は休息をとらない。
5　審判規定に関係する事項
(1) 柔道衣のマークについては、全柔連のマーキングの規則による。
　また、女子のＴシャツは白色無地とする。（柔道衣を合わせて見えないワンポイントは認める。背中のプリントは認めない）
(2) 補助員は生徒を当てる。
(3) チームドクターは医療指導者とする。
6　ゼッケンについて
(1) 試合に出場する選手は、ゼッケンをつけること。
(2) ゼッケンがとれた場合や柔道着を交換した場合は、ゼッケンがついてなかったり他の名前のゼッケンで試合したりすることになるが、出場を認める。



さらし　ふとあや
　ア　布地は白色(晒　太綾)でサイズは横 30～35cm、縦 20～25cm
　ウ　名字(姓)は上側 2/3 、所属名は下側 1/3　横書きであること
　エ　書体は太いゴシック(楷書)男子は黒色(女子は濃い赤色)
　オ　縫い付けの位置は後ろ襟から 10cm 程度下部に縫いつけ、対角線にも縫いつけること

2019年度 埼玉県高体連柔道専門部 役員一覧(案)

地区			氏名	学校名	専門部役員	大会役員	代表者会議役員
1	東	1	杉浦 正和	杉戸	部長	委員長	部長
2	北	2	関山民男	熊谷工	副部長	副委員長	副部長
3	西	3	鎌塚智樹	川越	委員長	副委員長	委員長
4	東	4	川上勝己	越谷西	副委員長(東)	総務	総務
5	西	5	松本茂	川越東	副委員長(西)	総務	総務
6	南	6	中村英二	岩槻	副委員長(南)	総務	総務
7	北	7	真板敏夫	熊谷	副委員長(北)	総務	総務
8	西	8	片岡也崇志	西武台	審判部長	審判長・ケアシステム	審判長
9	東	9	小池雅彦	春日部工	審判副部長(東)	副審判長・進行	副審判長・進行
10	西	10	中道泰宏	立教新座	審判副部長(西)	副審判長・進行	副審判長・進行
11	南	11	堀基博	川口市立	審判副部長(南)	副審判長・会場	副審判長
12	北	12	澤田克也	熊谷商	審判副部長(北)	副審判長	副審判長
13	東	13	小森辰弥	八潮	常任委員(東)		
14	東	14	土田敏	杉戸	常任委員(東)	○救護・接待	
15	西	15	吉本真司	ふじみ野	常任委員(西)	受付	受付・抽選
16	西	16	伊藤博彦	豊岡	常任委員(西)		受付・抽選
17	南	11	堀基博	川口市立	常任委員(南)	副審判長・会場	
18	南	17	佐藤隆	武南	常任委員(南)	○会場	受付・抽選
19	北	18	熊木雅弥	児玉	常任委員(北)	○計量	受付・抽選
20	北	19	森康洋	松山	常任委員(北)		受付・抽選
21	東	20	岡村照久	花咲徳栄	女子部役員(東)	計量	○受付・抽選
22	西	21	清水義弘	武蔵越生	女子部役員(西)		
23	南	22	本松好正	埼玉栄	女子部役員(南)	会場	
24	北	23	柏又洋邦	児玉	女子部役員(北)	受付	
25	南	24	小坂良行	伊那学園	強化部役員	会場	
26	南	25	福田光弘	大宮東	強化部役員	会場・入場	受付・抽選
27	南	26	川原篤	埼玉栄	強化部役員	会場	受付・抽選
28	北	12	澤田克也	熊谷商	強化部役員		
29	西	10	中道泰宏	立教新座	強化部役員	副審判長・○進行	副審判長・○進行
30	北	27	久松 誉	桶川西	強化部役員	入場・計量	受付・抽選
31	南	28	鯉渕祥太	大宮工	強化部役員	会場・ケアシステム	受付・抽選
32	南	29	石本匡史	川口工	強化部役員	会場・○補助役員	受付・抽選
33	西	30	北健太郎	富士見	強化部役員	計量	受付・抽選
34	西	31	本多重男	秋草学園	監事		
35	北	32	宇田昌司	熊谷	監事	記録	
36	東	20	岡村照久	花咲徳栄	地区幹事(東)		受付・抽選
37	西	33	青木幹太	狭山緑陽	地区幹事(西)	記録・ケアシステム	受付・抽選
38	南	34	小林正人	浦和工	地区幹事(南)	会場	受付・抽選
39	北	27	久松 誉	桶川西	地区幹事(北)	入場	受付・抽選
40	東	9	小池雅彦	春日部工	事務局(全国)	副審判長・進行	副審判長・進行
41	東	14	土田敏	杉戸	事務局(救護)	○救護・接待	
42	東	35	梶田信行	幸手桜	事務局(会計)	会計・○接待	会計
43	西	10	中道泰宏	立教新座	事務局(会議・進行)	副審判長・○進行	副審判長・○進行
44	西	36	柴田直之	狭山工業	事務局(原稿)	記録	企画
45	西	37	植木太郎	市立川越	事務局(情報)	記録	○企画
46	西	38	薄羽貴統	城西川越	事務局(情報)	記録	企画
47	南	25	福田光弘	大宮東	事務局(強化)	会場・入場	受付・抽選
48	南	39	倉持友和	大宮東	事務局(会計)	会計・接待	○会計
49	南	29	石本匡史	川口工	事務局(補助役員)	会場・○補助役員	受付・抽選
50	南	40	池田貴紀	蕨	事務局(ケアシステム)	○ケアシステム	受付・抽選

51	北	41	中 島 星 知	滑川総合	事 務 局(試合順)	総務	総務
52	北	42	森 幹 一	進 修 館	事 務 局(厚生)	副審判長	
53	北	43	橋 本 圭 介	桶 川	事 務 局(記録)	記録	総務
54	北	44	浅 賀 忠 夫	児玉白楊	事 務 局(情報)	ケアシステム	企画
55	東	20	岡 村 照 久	花咲徳栄	事 務 局 (抽選)		受付・抽選
56	北	27	久 松 誉	桶川西	事 務 局 (申請)	入場・計量	○受付・抽選
57	北	45	浅 岡 一 志	本 庄			
58	北	46	橋 本 直 人	進修館			
59	北	47	中 島 輝 久	進修館		ケアシステム	
60	北	48	石 間 戸 清	秩 父			
61	北	49	吹 越 徹	児玉柏楊			
62	北	50	橋 本 貴	熊谷西		計量	受付・抽選
63	北	51	半 澤 成 泰	小 鹿 野		計量	受付・抽選
64	北	52	柳 澤 実	熊谷西		ケアシステム	
65	北	53	石 田 漱 哉	本庄東			受付・抽選
66	北	54	大島 優	熊 谷 商		女子計量	
67	西	55	柳 原 安 行	新座柳瀬			
68	西	56	青 山 陽 紀	西武台			
69	西	57	石 川 保 彦	秀 明		計量	受付・抽選
70	西	58	浦 川 大 輔	所沢中央		計量	受付・抽選
71	西	59	千代田 増 夫	川 越 工		総務	総務
72	西	60	松 井 健	所沢あおぞら			
73	西	61	片 岡 佐 栄	西武台		女子計量	
74	東	62	古 川 賢 人	春日部東		計量	
75	東	63	矢 島 芳 夫	幸手桜		情報	受付・抽選
76	東	64	川 原 久 乃	平成国際大		○女子計量	
77	東	65	林 大 樹	春日部共栄		計量	受付・抽選
78	東	66	富 沢 健 一	春日部工		ケアシステム	
79	東	67	齋 藤 貴 裕	久喜工		ケアシステム	
80	南	68	山 口 洋 一	栄 東			
81	南	69	西 幅 哲	大 宮 西		会場	
82	南	70	稲 垣 眞 人	浦 和 南			
83	南	71	吉 井 誠	浦和		会場	
84	南	72	鴨 田 光 晴	上尾橘		入場	
85	南	73	佐 藤 孝 也	浦 和 工		記録・ケアシステム	受付・抽選
86	南	74	石 井 茂	川口東		会場・入場	受付・抽選
87	南	75	内 田 潤	伊那学園		会場	
88	南	76	香 川 翔 吾	秀明英光		計量	受付・抽選
89	南	77	福 島 智 教	武 南		記録	受付・抽選
90	南	78	岡 田 圭 市	蕨		会場・補助役員	
91	東	79	篠 塚 拳 人	草加かがやき			
92	北	80	栗 田 健 二	羽生藤			
93	南	81	加 藤 善 之	上尾かしの木			
94	再	82	斎 藤 裕 治	深谷商			
95	再	83	二本松 敬 太	狭山経済			
96	再	84	佐 山 幸 司	大宮光陵			
97	再	85	駒 井 清 民	川 口			
98	再	86	金 子 明 正	伊奈学園			
99	再	87	村 田 豊	大 宮 工			
100	再	88	藤井信雄	久喜工			
101	再	89	畔上 悟	狭山緑陽			

○埼玉県高等学校体育連盟各種目別専門部役員

会計担当者・倉持友和:大宮東　研究部委員・橋本貴:熊谷西　記録担当者・橋本圭介:桶川　強化対策委員・石本匡史:川口工業

2019埼玉県高体連柔道専門部大会役員一覧

	氏名	学校名	審判員	大会役員		氏名	学校名	審判員	大会役員
西	杉浦 正和	杉戸		委員長	東	古川賢人	春日部東	○	計量
北	関山民男	熊谷工	○	副委員長	東	林大樹	春日部共栄	○	計量
西	鎌塚智樹	川越		副委員長	南	香川翔吾	秀明英光	○	計量
東	川上勝己	越谷西	○	副委員長・総務	東	川原久乃	平成国際大	○	○女子計量
西	松本茂	川越東	○	副委員長・総務	西	片岡佐栄	西武台	○	女子計量
南	中村英二	岩槻	○	副委員長・総務	北	大島 優	熊谷商		女子計量
北	真板敏夫	熊谷	○	副委員長・総務	西	吉本真司	ふじみ野	○	○受付
西	千代田増夫	川越工	○	総務	北	柏又洋邦	児玉	○	受付
北	中島星知	滑川総合	○	総務	東	梶田信行	幸手桜	○	会計・○接待
西	片岡也崇志	西武台	○	審判長・ケアシステム	南	倉持友和	大宮東	○	○会計・接待
北	澤田克也	熊谷商	○	副審判長	東	土田敏	杉戸	○	○救護・接待
南	堀基博	川口市立	○	副審判長・会場	東	矢島芳夫	幸手桜	○	
東	小池雅彦	春日部工	○	副審判長・進行	東	小森辰弥	八潮	○	
西	中道泰宏	立教新座	○	副審判長・進行	北	浅岡一志	本庄	○	
南	佐藤隆	武南	○	○会場	西	清水義弘	武蔵越生	○	
南	本松好正	埼玉栄		会場	西	本多重男	秋草学園	○	
南	小坂良行	伊那学園	○	会場	西	伊藤博彦	豊岡	○	
南	川原篤	埼玉栄	○	会場	東	岡村照久	花咲徳栄	○	
南	小林正人	浦和工	○	会場	北	森幹一	進修館	○	
南	西幅哲	大宮西	○	会場	北	森康洋	松山	○	
南	吉井誠	浦和	○	会場	北	橋本直人	進修館	○	
南	内田 潤	伊那学園	○	会場	北	石間戸清	秩父	○	
南	福田光弘	大宮東	○	会場・入場	北	吹越徹	児玉白楊	○	
南	石井茂	川口東	○	会場・入場	北	石田漱哉	本庄東	○	
南	石本匡史	川口工	○	会場・○補助役員	西	柳原安行	新座柳瀬	○	
南	岡田圭市	蕨	○	会場・補助役員	西	青山陽紀	西武台	○	
南	鴨田光晴	上尾橘	○	入場	西	松井 健	所沢あおぞら	○	
北	久松 誉	桶川西	○	○入場・計量	南	山口洋一	栄東	○	
南	鯉渕祥太	大宮工	○	会場・ケアシステム	南	稲垣眞人	浦和南	○	
南	池田貴紀	蕨	○	○ケアシステム	東	篠塚拳人	草加かがやき	○	
北	浅賀忠夫	児玉白楊		ケアシステム	北	栗田健二	羽生藤	○	
北	中島輝久	進修館		ケアシステム	南	加藤善之	上尾かしの木	○	
北	柳澤実	熊谷西		ケアシステム	再	斎藤裕治	深谷商		
東	富沢健一	春日部工		ケアシステム	再	二本松敬太	狭山経済	○	
東	齋藤貴裕	久喜工		ケアシステム	再	佐山幸司	大宮光陵		
西	青木幹太	狭山緑陽		記録・ケアシステム	再	駒井清民	川口		
南	佐藤孝也	浦和工		記録・ケアシステム	再	金子明正	伊奈学園	○	
北	橋本圭介	桶川		○記録	再	村田豊	大宮工		
北	宇田昌司	熊谷		記録	再	藤井信雄	久喜工		
西	柴田直之	狭山工業		記録	再	畔上 悟	狭山緑陽		
西	植木太郎	市立川越		記録					
西	薄羽貴統	城西川越		記録					
南	福島智教	武南		記録					
北	熊木雅弥	児玉	○	○計量					
東	岡村照久	花咲徳栄	○	計量					
西	北健太郎	富士見	○	計量					
北	橋本貴	熊谷西	○	計量					
北	半澤成泰	小鹿野	○	計量					
西	石川保彦	秀明	○	計量					
西	浦川大輔	所沢中央	○	計量					

2019年度埼玉県高体連柔道専門部代表者会議（案）

地区	氏名	学校名	代表者会議役員	地区	氏名	学校名	代表者会議役員
東	杉浦 正和	杉戸	部長	東	岡村照久	花咲徳栄	○受付・抽選
北	関山民男	熊谷工	副部長	南	佐藤隆	武南	受付・抽選
西	鎌塚智樹	川越	委員長	南	川原篤	埼玉栄	受付・抽選
東	川上勝己	越谷西	副委員長・総務	南	小林正人	浦和工	受付・抽選
西	松本茂	川越東	副委員長・総務	南	福田光弘	大宮東	受付・抽選
南	中村英二	岩槻	副委員長・総務	南	石井茂	川口東	受付・抽選
北	浅岡一志	本庄	副委員長・総務	南	石本匡史	川口工	受付・抽選
西	千代田増夫	川越工	総務	南	岡田圭市	蕨	受付・抽選
北	中島星知	滑川総合	総務	北	久松 誉	桶川西	受付・抽選
北	橋本圭介	桶川	総務	南	鯉渕祥太	大宮工	受付・抽選
西	片岡也崇志	西武台	審判長	南	池田貴紀	蕨	受付・抽選
北	森幹一	進修館	副審判長	西	青木幹太	狭山緑陽	受付・抽選
南	堀基博	川口市立	副審判長	南	佐藤孝也	浦和工	受付・抽選
西	中道泰宏	立教新座	副審判長・○進行	南	福島智教	武南	受付・抽選
東	小池雅彦	春日部工	副審判長・進行	西	伊藤博彦	豊岡	受付・抽選
西	植木太郎	市立川越	○企画	北	熊木雅弥	児玉	受付・抽選
北	浅賀忠夫	児玉白楊	企画	西	北健太郎	富士見	受付・抽選
西	柴田直之	狭山工業	企画	北	橋本貴	熊谷西	受付・抽選
西	薄羽貴統	城西川越	企画	北	半澤成泰	小鹿野	受付・抽選
南	倉持友和	大宮東	○会計	西	石川保彦	秀明	受付・抽選
東	梶田信行	幸手桜	会計	西	浦川大輔	所沢中央	受付・抽選
				東	林大樹	春日部共栄	受付・抽選
				南	香川翔吾	秀明英光	受付・抽選
				西	吉本真司	ふじみ野	受付・抽選
				西	青山陽紀	西武台	受付・抽選
				東	矢島芳夫	幸手桜	受付・抽選
				北	澤田克也	熊谷商	受付・抽選
				東	岡村照久	花咲徳栄	受付・抽選
				北	森康洋	松山	受付・抽選
				北	石田漱哉	本庄東	受付・抽選

埼玉県高体連柔道専門部　行事予定

期	日		行事名	会場
4	9	火	第１回事務局会議	埼玉県立武道館(第１会議室)
5	2	木	顧問総会・代表者会議	埼玉県立武道館(柔道場)
	5～7	日～火	関東予選会	埼玉県立武道館
	１３	月	関東県内申込締切	川越高校
	１５	水	関東申込締切	川越高校
	１８	土	関東抽選	講道館
6	31～２	金～日	第６７回関東高校柔道大会	東京都足立区綾瀬　東京武道館
	7	金	小委員会・全国総体代表者会議	埼玉県立武道館(柔道場)
	１２	水	インターハイ予選会（個人）	埼玉県立武道館
	19～20	水～木	インターハイ予選会（団体）	埼玉県立武道館
	２４	月	インターハイ県内申込締切	川越高校
	２１	金	インターハイ申込締切	鹿児島県鹿児島市
7	4	木	インターハイ抽選	鹿児島県鹿児島市
8	9～13	火～土	第６８回全国高校柔道大会	鹿児島アリーナ
	23～25	水～金	埼玉県高校柔道練成会	埼玉県立武道館
9	3	火	第２回事務局会議（小委員会）	埼玉県立武道館(第１会議室)
11	１５	金	小委員会・常任委員会・代表者会議	埼玉県立武道館(第１・柔道場)
	19～20	火～水	埼玉県高校柔道新人大会	埼玉県立武道館
1	7	月	代表者会議	埼玉県立武道館（柔道場）
	１２	日	埼玉県高校柔道選手権大会（個人）	埼玉県立武道館
	１３	月	埼玉県高校柔道選手権大会（団体）	埼玉県立武道館
	２１	月	選手権県内申込締切	川越高校
	末		選手権申込締切	講道館
2	中旬		選手権抽選	講道館
3	20～21	水～木	第４２回全国高校柔道選手権大会	日本武道館

２０１９年度　埼玉県高体連柔道専門部　大会要項一覧

大会名	種目		期日	会場	チーム編成等	会議等	備考	
春季地区	男子	団体	各地区	東･春日部武道館 西･所沢武道館 南･県立武道館 北･熊谷体育館	関東予選に準ずる	各地区	ﾍﾞｽﾄ4を県大ｼｰﾄﾞ	
		個人			全国予選に準ずる		ﾍﾞｽﾄ8が県大出場	
	女子	団体			関東予選に準ずる		ﾍﾞｽﾄ2を県大ｼｰﾄﾞ	
		個人			全国予選に準ずる		県大出場フリー	
関東予選会	男子	団体	5月 6日(月) 7日(火)	県立武道館	フリー出場 先～中-73 kg 副・大 無差別	5月2日 (木) 10:00 顧問総会 13:30 代表者会議 会場 県立武道館	上位8校	関東大会出場
		個人	5月 5日(日)		地区推薦者		上位2名	
	女子	団体	5月 6日(月)		ﾌﾘｰ出場 先・次-57kg 大 無差別		上位7校	
		個人	5月 5日(日)		フリー出場 48･52･57･63･70･78･78kg 超		各階級 上位2名	
全国予選会	男子	団体	6月19日(水) 20日(木)	県立武道館	フリー出場 無差別	6月7日 (金) 13:30 代表者会議 会場 県立武道館	優勝校	全国大会出場
		個人	6月12日(水)		地区推薦者 (60･66･73･81･90･100･100kg 超)		優勝者	
	女子	団体	6月19日(水)	県立武道館	ﾌﾘｰ出場 無差別		優勝校	
		個人	6月12日(水)		フリー出場 (48･52･57･63･70･78･78kg 超)		優勝者	
専門部主催個人試合	男子	個人	6月19日(水)	団体不参加校のみ(２名まで) 3年生で団体戦に未登録で個人戦に不出場の者				
	女子	個人		団体不参加校のみ(１名まで)				
秋季地区	男子	団体	各地区	東･春日部武道館 西･所沢武道館 南･県立武道館 北･熊谷体育館	各地区	各地区	男女団体 上位2校を県新人・選手権シード	
		個人						
	女子	団体						
		個人						
新人大会	男子	団体	11月19日(火) 20日(水)	県立武道館	ﾌﾘｰ出場 無差別	11月15日 (金) 13:00 常任委員会 14:30 代表者会議 会場 県立武道館	ベスト8を翌年全国予選シード	
		個人	11月19日(火)		団体不参加校のみ(２名まで)			
	女子	団体	11月20日(火)		ﾌﾘｰ出場 無差別		ベスト8を翌年全国予選シード	
		個人	11月19日(火)		団体不参加校のみ(１名まで)			
選手権大会	男子	団体	２０１９年 1月13日(月)	県立武道館	フリー出場 無差別	2019年 1月7日 (火) 13:30 代表者会議 会場 県立武道館	優勝校	全国大会出場
		個人	1月12日(日)		地区推薦者(60･66･73･81kg･無差別)		優勝者	
	女子	団体	２０１９年 1月13日(月)		フリー出場 体重別		優勝校	
		個人	1月12日(日)		フリー出場(48･52･57･63kg･無差別)		優勝者	

2019年度　埼玉県柔道連盟行事予定表　(県内・県外)(案)　　2019/ / (暫定)

月	日	曜	埼柔連、大学、高体連、中体連主催	会場	主催	月	日	曜	関柔連、全柔連主催	会場	主催
4	6	土	埼玉県柔道小学生強化練習会	県武第一道場	埼柔連	4	6～7	土～日	全日本選抜体重別選手権	福岡国際センター	全柔連
	14	日	埼玉県柔道「形」競技大会	県武第一道場	埼柔連		14	日	全日本カデ体重別選手権大会	大阪府	全柔連
	21	日	昇段審査会男2段(浦和3段女子2段)	3地区審査会	埼柔連		21	日	皇后盃全日本女子選手権大会	横浜文化体育館	全柔連
			柔道「形」講習会	県武第一道場	埼柔連		28	金	全国柔道高段者大会	講道館	講道館
							28	日	関柔連理事会・関ブロ組合抽選会	東京都	関柔連
							29	月・祝	全日本柔道選手権大会	日本武道館	全柔連
5	3	金・祝	埼玉県柔道大会	秩父体育センター	埼柔連	5	4～5	木・金祝	全国少年柔道大会　合同錬成	講道館	講道館
	4	土祝	埼玉県柔道連盟総会	清水園会議室	埼柔連		6	月祝	関東柔道連合会総会	埼玉県	関柔連
	5～7	日～火	高校柔道関東予選会	県武主道場	高体連		26	日	関東学生優勝大会(前日準備17時～)	県武主道場	関　学
	11	土	埼玉県小学生柔道強化練習会	県武第一道場	埼柔連		26	日	関東7・8段祝賀会	埼玉県	関柔連
	12	日	スポーツフェア2019(武道館祭り)	県武全館	県　武		31	金	関東高校柔道大会	栃木県	関高連
	19	日	県ジュニア体重別選手権大会(前日準備)	県武主道場	埼柔連						
	26	日	埼玉県選抜柔道大会・少年大会	深谷市	埼接連						
6	9	日	小学生学年別柔道大会(前日準備)	県武主道場	埼柔連	6	1～2	土～日	関東高校柔道大会	栃木県	関高連
	12	水	全国高校総体予選会(個人)	県武主道場	高体連		2	日	関柔連Bライセンス学科試験	スポーツ総合センター	関柔連
	16	日	埼玉県民警選抜柔道大会(前日準備)	県武主道場	警察		8～9	土～日	全日本実業団体対抗大会	群馬県高崎	実　柔
	19～20	水～木	全国高校総体予選会(団体)	県武主道場	高体連		22～23	土～日	全日本学生優勝大会	日本武道館	全学生
	22	土	埼玉県小学生柔道強化練習会	県武第一道場	埼柔連		29	土	関東地区講道館「形」講習会	県武第一道場	関柔連
	23	日	昇段審査会男2段(浦和3段～5段女子3段)	県武第一道場	埼柔連						
			柔道「形」講習会	県武第一道場	埼柔連						
	30	日	第74回国体選手選考会(少年男・女・成年男女)	県武第一道場	埼柔連						
7	13	土	埼玉県小学生柔道強化練習会	県武第一道場	埼柔連	7	6	土	全柔連Aライセンス学科試験	スポーツ総合センター	全学生
	22	月	中学校総体柔道大会(女子個人)	県武主道場	中体連		7	日	関東ジュニア大会(男女、前日準備14時～)	県武主道場	関柔連
	23	火	中学校総体柔道大会(男子個人)	県武主道場	中体連				全柔連Aライセンス実技試験	県武主道場	全柔連
	24	水	中学校総体柔道大会(団体戦)	県武主道場	中体連		22～24	月～水	金鷲旗高校大会	マリンメッセ福岡	全柔連
	28	日	六段昇段候補者書類審査	さいたま市	埼柔連		27～29	土～月	関東ブロック柔道小学生合宿	県武第一道場	関柔連
							28	日	全日本少年少女武道錬成大会	日本武道館	全柔連
8	2	金	埼玉県警察少年柔・剣道大会(前日準備)	県武主道場	警察	8	4	日	関東柔道「形」競技大会	神奈川県	関柔連
	12	月・祝	昇段審査会男2段(浦和3段女子2段)	県武第一道場	埼柔連		9～13	金～火	全国高校総合体育大会柔道競技	鹿児島県	高体連
			柔道「形」講習会	県武第一道場	埼柔連		10～11	土～日	東日本医科学生総合体育大会(柔道)前日準備	県武主道場	東日本医科
							11	日	全国小学生学年別柔道大会	愛媛県	全柔連
							17～18	土～日	関東学生体重別大会(前日準備17時～)	県武主道場	関学連
							17～20	土～火	全国中学校柔道大会	兵庫県	全柔連
							18	日	関東柔道高段者大会	川口武道センター	関柔連
							24	土	関柔連理事会	千葉	関柔連
							25	日	第74回国体関東ブロック大会	千葉	関柔連
							25～9/1	日～日	柔道世界選手権大会	日本武道館	全柔連
							26～28	月～水	関東近県高校柔道錬成会	県武主道場	関東高校
							31	土	関東六段昇段書類審議会、理事会	埼玉県	関柔連
9	7	土	埼玉県小学生柔道強化練習会	県武第一道場	埼柔連	9	14～15	土～日	全日本ジュニア体重別選手権大会(前日準備)	県武主道場	全柔連
	22	日	埼玉県柔道道場大会(前日準備17時～)	県武主道場	道場連		14～15	土～日	全日本実業個人選手権大会	尼崎ベイコム	実　柔
	29	日	第1回全柔連指導者養成準Cポイント講習会	県武第一道場	埼柔連		21	土	関東六段昇段形審査	川口武道センター	関柔連
							22	日	マルちゃん杯全日本少年柔道大会	東京武道館	全柔連
							28～29	土～日	全日本学生体重別選手権大会	秋田県	全学連
10	5	土	埼玉県小学生柔道強化練習会	県武第一道場	埼柔連	10	5～7	土～月	第74回国民体育大会(柔道)	茨城県	全柔連
	13	日	第2回全柔連指導者養成準Cポイント講習会	県武第一道場	埼柔連		19～20	土～日	全日本学生体重別団体優勝大会	尼崎ベイコム	全学生
	14	月・祝	昇段審査会男2段(浦和3段男子・女子)	県武第一道場	埼柔連				全国警察柔道大会(団体戦)	日本武道館	警　察
			合同審査会4段～5段(男子・女子)	県武第一道場	埼柔連		27	日	全日本形競技大会	講道館	全柔連
11	3	日	県民総体郡市対抗・高段者大会	県武第一道場	埼柔連	11	2～3	土～日	講道館杯全日本体重別選手権大会	千葉県	全柔連
	4	月・祝	錬昇段候補者審議会	さいたま市	埼柔連		22～24	金～日	グランドスラム大阪	大阪府	全柔連
	9	土	埼玉県小学生柔道強化練習会	県武第一道場	埼柔連		30	土	関柔連理事会・事務局長会議	清水園	関柔連
	10	日	第3回全柔連指導者養成Bポイント講習会	県武第一道場	埼柔連						
	19～20	火～水	県高校新人大会	県武主道場	高体連						
12	1	日	第4回全柔連指導者養成Bポイント講習会	県武第一道場	埼柔連	12					
	7	土	第2回埼玉県武道祭	県武全館	県　武						
	8	日	昇段審査会男2段(浦和3段女子2段)	3地区審査会	埼柔連						
			柔道「形」講習会	県武第一道場	埼柔連						
	14	土	埼玉学生柔道大会	県武第一道場	埼柔連						
	15	日	第5回全柔連指導者養成Bポイント講習会	県武第一道場	埼柔連						
	21	土	埼玉県小学生柔道強化練習会	県武第一道場	埼柔連						
1	4	土	武道館初稽古	県武全館	県　武	1					
	4	土	埼玉県小学生柔道強化練習会	県武第一道場	埼柔連						
	5	日	賀詞交歓会・六段昇段祝賀会	清水園会議室	埼柔連						
	12	日	県高校選手権大会(個人)	県武主道場	高体連						
	13	月	県高校選手権大会(団体)	県武主道場	高体連						
	19	日	埼玉県柔道選手権大会(前日準備14時～)	県武主道場	埼柔連						
	26	日	講道館「形」講習会	県武第一道場	埼柔連						
2	16	日	埼玉県柔道紅白試合(前日準備14時～)	県武主道場	埼柔連	2	1	土	関柔連理事会・全日本関東予選組合せ	清水園	関柔連
	23	日	昇段審査会男2段(浦和3段男子・女子)	3地区審査会	埼柔連		2	日	関東六段証書伝達式	清水園	関柔連
			柔道「形」講習会	県武第一道場	埼柔連		9	日	第11回東京・関東対抗選抜柔道大会	講道館	関柔連
							29	土	関柔連合会理事会	千葉県	関柔連
3	8	日	全柔連「審判」講習会	県武第一道場	埼柔連	3	1	日	関東柔道選手権兼全日本関東予選(前日準備)	千葉県	関柔連
	15	日	少年柔道選手権全国予選(前日準備17時～)	県武主道場	道場連		20～21	金～土	全国高校選手権大会	群馬県	高体連
							28～29	土～日	近代柔道杯全国中学生柔道大会(前日準備)	さいたま市	全柔連

埼柔連:埼玉県柔道連盟　関柔連:関東柔道連合会　道場連:埼玉県道場連盟　高体連　中体連　全柔連:全日本柔道連盟　実柔:実業団柔道連盟　埼学生:大学

令和元年以降の全国・関東大会の開催予定

	関東大会	全国大会		関東ブロック	国民体育大会	備　　考
元年度(2019)	群 馬 県	南九州ブロック (鹿児島県)	西		茨城県	
２年度(2020)	神奈川県	北関東ブロック (兵庫県)	東		鹿児島県	
３年度(2021)	山梨県	北信越ブロック (長野県)	中			
４年度(2022)	千葉県	北信越ブロック (長野県)				

県大会シード・抽選方法一覧

	種目	シード方法	抽選方法	エントリー
関東予選会	男子団体	地区１位を第１シード 地区２位を第２シード 地区３位を第３シード 地区４位を第４シード	①第１を４ブロックに振り分ける。 （ジャンケンで抽選順を決める） 以下、自動的に地区のシード校の入る場所が決まる。（場所の確認をする） ②第２を同地区１位と反対ブロックに入れる。 ③第３を各地区２位とベスト８決めで当たる４ブロックからフリー抽選で入れる。 この場合、同地区と当たる場所でもよい。 ④第４を各地区１位とベスト８決めで当たる４ブロックからフリー抽選で入れる。 この場合、同地区と当たる場所でもよい。 ⑤受付順にフリー抽選	フリー
	男子個人	地区第１・２推薦をシード （前年度ベスト４の該当者） 地区大会に不出場で、前年度の中学時に実績のある者を１６シードとする検討ができる。	①第１を４ブロックに振り分ける。 ②第２を同地区１位と反対ブロックに入れる。 但し、前年度同大会でベスト４の該当選手がいた場合は、上位２名が準決勝まで当たらない配慮をする。 〈例〉 前年度１・２・３・４位が出場している →１・２を配慮する 前年度１・３・４位が出場している →１・３を配慮する 前年度１・４位が出場している →１・４を配慮する ※前年度１位が抽選番号１番とは限らない。 ③人数の多い順に同校と当たらない８・４・２ブロックに振り分けるように抽選する。	地区推薦 ６４名 東部１０名 西部１８名 南部２１名 北部１５名
	女子団体	地区１位を第１シード 地区２位を第２シード	①第１を４ブロックに振り分ける。 （ジャンケンで抽選順を決める） 以下、自動的に地区のシード校の入る場所が決まる。（場所の確認をする） ②第２を同地区１位と反対ブロックに入れる。 ③受付順にフリー抽選	フリー
	女子個人	地区第１・２推薦をシード （前年度ベスト４の該当者）	①第１を４ブロックに振り分ける。 ②第２を同地区１位と反対ブロックに入れる。 但し、前年度同大会でベスト４の該当選手がいた場合は、上位２名が準決勝まで当たらない配慮をする。	フリー
			〈例〉 前年度１・２・３・４位が出場している →１・２を配慮する 前年度１・３・４位が出場している →１・３を配慮する	

			前年度１・４位が出場している →１・４を配慮する ※前年度１位が抽選番号１番とは限らない。 ③人数の多い順に同校と当たらない８・４・２ブロックに振り分けるように抽選する。	
		地区大会に不出場で、前年度の中学時に実績のある者を１６シードとする検討ができる。		
全国予選会	男子団体	前年度県新人大会 １位を第１シード ２位を第２シード ３位を第３シード ４位を第４シード ５位を第５シード	①第１・２を対角ブロックに入れる。（抽選で決める） ②第３を第２と準決勝で当たるブロックに入れる。（抽選場所の確認をする） ③第４を第１と準決勝で当たるブロックに入れる。（抽選場所の確認をする） ④第５を第１～第４と準々決勝で当たるブロックに入れる。（ジャンケンで抽選順を決める） ⑤受付順にフリー抽選	フリー
	男子個人	地区１位を第１シード 地区２位を第２シード	①第１を４ブロックに振り分ける。 ②第２を同地区１位と反対ブロックに入れる。 ③出場人数の多い学校から順に同校と当たらない８・４・２　ブロックに振り分けるように抽選する。 ※専門部主催個人試合は新人戦準じる。	各地区各階級８名。 前年度本大会（全国大会）出場者は別枠で出場できる。 さらに抽選番号は１番とする。
	女子団体	前年度県新人大会 １位を第１シード ２位を第２シード ３位を第３シード ４位を第４シード ５位を第５シード	①第１・２を対角ブロックに入れる。（抽選で決める） ②第３を第２と準決勝で当たるブロックに入れる。（抽選場所の確認をする） ③第４を第１と準決勝で当たるブロックに入れる。（抽選場所の確認をする） ④第５を第１～第４と準々決勝で当たるブロックに入れる。（ジャンケンで抽選順を決める） ⑤受付順にフリー抽選	フリー
	女子個人	地区１位を第１シード 地区２位を第２シード	①第１を４ブロックに振り分ける。 ②第２を同地区１位と反対ブロックに入れる。 ③出場人数の多い学校から順に同校と当たらない８・４・２　ブロックに振り分けるように抽選する。 ※専門部主催個人試合は新人戦準じる。	フリー 前年度本大会（全国大会）出場者は別枠で出場できる。 さらに抽選番号は１番とする。

新人大会	男子団体	地区１位を第１シード 地区２位を第２シード	①第１を４ブロックに振り分ける。 （ジャンケンで抽選順を決める） ②第２を同地区１位と反対ブロックに入れる。 （ジャンケンで抽選順を決める） ③受付順にフリー抽選	フリー
	女子団体	地区１位を第１シード 地区２位を第２シード	①第１を４ブロックに振り分ける。 （ジャンケンで抽選順を決める） ②第２を同地区１位と反対ブロックに入れる。 （ジャンケンで抽選順を決める） ③受付順にフリー抽選	フリー
	男子個人	地区大会各階級１～３位の該当者をシード	①シード選手の数を確認し、２・４・８のブロックに振り分ける。 ②出場人数２名の学校から順に決勝まで当たらないブロックに入れる。	団体試合に出場できない学校のみ２名までエントリーできる。
	女子個人	地区大会各階級１～３位の該当者をシード	シード選手の数を確認し、２・４・８のブロックに振り分ける。	団体試合に出場できない学校のみ１名だけエントリーできる。
選手権大会	男子団体	地区１位を第１シード 地区２位を第２シード	①第１を４ブロックに振り分ける。 （ジャンケンで）抽選順を決める） ②第２を同地区１位と反対ブロックに入れる。 （ジャンケンで抽選順を決める） ③受付順にフリー抽選	フリー
	男子個人	地区１位を第１シード 地区２位を第２シード	①第１を４ブロックに振り分ける。 ②第２を同地区１位と反対ブロックに入れる。 ③出場人数の多い学校から順に同校と当たらない８・４・２　ブロックに振り分けるように抽選する。	各地区各階級８名。 前年度本大会（全国大会）出場者は別枠で出場でき、抽選番号は１番とする。
	女子団体	地区１位を第１シード 地区２位を第２シード	①第１を４ブロックに振り分ける。 （ジャンケンで）抽選順を決める） ②第２を同地区１位と反対ブロックに入れる。 （ジャンケンで抽選順を決める） ③受付順にフリー抽選	フリー
	女子個人	地区１位を第１シード 地区２位を第２シード	①第１を４ブロックに振り分ける。 ②第２を同地区１位と反対ブロックに入れる。 ③出場人数の多い学校から順に同校と当たらない８・４・２　ブロックに振り分けるように抽選する。	フリー 前年度(全国大会)出場者の抽選番号は１番とする。

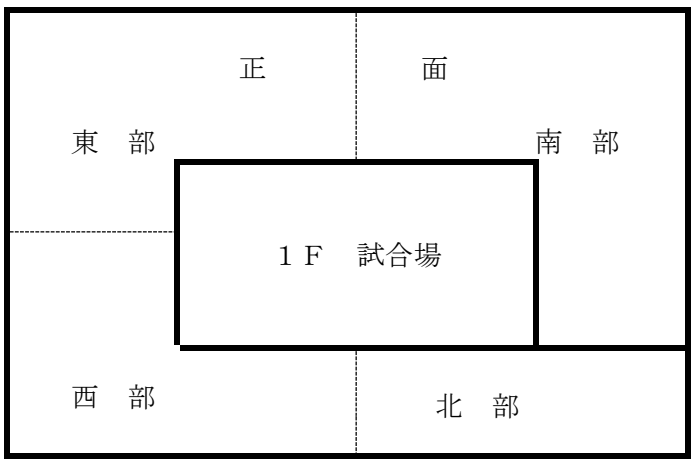
県大会　代表者会議　実施要項

1　抽選会
(1) 対戦掲示用の団体試合オーダー表を記入する。（マジックインキ・新聞紙を使用）
(2) ゴミ袋を受け取り、学校名・日付・ゴミの種類（①可燃物②ビン・カン③ペットボトル）を記入しておく。
(3) 受付で大会申込書を提出する。（男女団体・男女個人）
(4) 受け付けた学校の確認（男女団体に申し込んだ学校名のみ呼名する）
(5) 抽選（団体試合（公開抽選）・個人試合（専門部抽選））

2　代表者会議
(1) あいさつ（県高体連柔道専門委員長）
(2) 試合上の注意（審判長による審判規程・申し合わせ事項・試合時間の確認など）

3　諸連絡
(1) 入館から開会式・開始式までの流れについて
ア　会場準備をする生徒の入館について
(ｱ) ８時に１階正面玄関から指定校(県南地区の指定された学校)の生徒と補助員（指定された学校の生徒）が入館して準備にあたる。
(ｲ) 大会２日目以降は補助員(指定された学校の生徒）のみが入館して準備にあたる。
イ　選手の入館について
(ｱ) 団体試合は、原則として各試合場の第１・第２試合に出場する学校（24 校）から入館する。
(ｲ) その後は、抽選番号順に入館する。
(ｳ) 個人試合は、その都度別途指示をする。
(2) 大会期間中の選手・選手以外の人数の入館・入場の制限について
ア　講道館・全柔連の「柔道 MIND」を尊重し、大会会場を多くの学校が共有できるように協力してください。
イ　入館時（ｱ）登録選手が奇数の場合は＋２（１名は荷物番）
（ｲ）登録選手が偶数の場合は＋１（１名は荷物番）
エ　練習時（ｱ）登録選手が奇数の場合は＋１
（ｲ）登録選手が偶数の場合は＋０
※試合場へは、準備が終了するまで入らないこと。
オ　試合時（ｱ）監督・顧問・登録コーチ・登録選手
（ｲ）競技補助役員生徒
（ｳ）県柔連役員（壇上に誘導する）
（ｴ）その他ＯＢ・保護者・応援生徒は２階観覧席から応援してください。
(3) 観覧席・控え室（剣道場）の地区割り振りについて
ア　遠隔地の学校の控える場所の確保のために、下図の通り割り振りをする。
イ　守れない場合は、退館させることもあるので注意すること。

観覧席（２Ｆ）



関東大会県予選会のタイムスケジュール

日	５月５日（日）			
時	教員	補助員	選　　手	応援生徒
8:00	入館・準備	入館・準備		
9:00			女子入館・更衣（観覧席・更衣室）	
			計量(第２会議室)	
9:15			男子入館・更衣(観覧席)	
10:00	審判打合せ		～１０：００　女子計量終了	９：４５
	(第１会議室)			入館
10:45	開会式			
11:10	男女個人試合開始			
14:00	男女個人試合決勝リーグ			
15:30	男女個人試合表彰式			
16:30	清掃終了			

日	５月６日（月）			
時	教員	補助員	選　　手	応援生徒
8:30	入館・準備	入館・準備		
9:00			男子入館・更衣(観覧席)	
			男子計量(屋内相撲場)	
9:15			女子入館・更衣（観覧席・更衣室）	
			女子計量(第２会議室)～１０：１５ 終了	9:45
10:00	審判打合せ		～１０：００ 男子計量終了	入館
	(第１会議室)			
10:45	開始式			
11:15	男子団体試合開始 ベスト３２まで			
13:30	女子団体試合開始			
15:30	女子団体試合決勝			
16:00	女子団体試合表彰式			
16:30	清掃終了			

日	５月７日（火）			
時	教員	補助員	選　　手	応援生徒
8:30	入館・準備	入館・準備		
9:00			男子入館・更衣(観覧席)	
9:45	審判打合せ			9:45
	(第１会議室)			入館
10:30	開始式			
10:45	男子団体試合開始			
14:00	男子団体試合決勝			
14:30	男子団体試合表彰式			
15:30	清掃終了			

全国大会県予選会のタイムスケジュール

日	６月１２日（水）			
時	教員	補助員	選　　手	応援生徒
8:00	入館・準備	入館・準備		
9:00			女子入館・更衣（観覧席・更衣室）	
			計量(第２会議室)	
9:15			男子入館・更衣(観覧席)・計量(屋内相撲場)	
10:15	審判打合せ		～10:００女子計量終了　～10:15男子計量終了	９：４５
	(第１会議室)			入館
10:45	開会式			
11:10	男女個人試合開始			
16:30	男女個人試合表彰式			
17:30	清掃終了			

日	６月１９日（水）			
時	教員	補助員	選　　手	応援生徒
8:00	入館・準備	入館・準備		
9:00			男子入館・更衣(観覧席)	
10:00	審判打合せ			9:30
	(第１会議室)			入館
10:30	開始式			
11:00	男子団体試合・個人試合(専門部主催)開始			
15:30	男子団体試合ベスト１６・個人試合(専門部主催)表彰式			
16:00	清掃終了			

日	６月２０日（木）			
時	教員	補助員	選　　手	応援生徒
8:30	入館・準備	入館・準備		
8:45			女子入館・更衣（観覧席・更衣室）	
9:00			男子入館・更衣(観覧席)	
9:30	審判打合せ		10:00男女受付終了	選手入館後
	(第１会議室)			入館
10:15	開始式			
10:30	男女団体試合開始			
14:30	男女団体試合決勝			
15:30	男女団体試合表彰式			
16:30	清掃終了			

県新人大会のタイムスケジュール

日	１１月１９日（火）			
時	教員	補助員	選　　手	応援生徒
8:00	入館・準備	入館・準備		
9:00			男子入館・更衣(観覧席)	
			女子入館・更衣（観覧席・更衣室)	
10:00	審判打合せ		男子団体・個人受付終了	９：30
	(第１会議室)			入館
10:30	開会式			
11:00	男女個人試合開始			
12:00	男女個人試合表彰式			
12:20	男子団体試合開始			
15:00	男子団体試合ベスト１６まで			
15:30	清掃終了			

日	１１月２０日（水）			
時	教員	補助員	選　　手	応援生徒
8:30	入館・準備	入館・準備		
9:00			女子入館・更衣（観覧席・更衣室)	
9:15			男子入館・更衣(観覧席)	
9:45	審判打合せ		10:00男女受付終了	入館
	(第１会議室)			
10:15	開始式			
10:30	男女団体試合開始			
14:30	男女団体試合決勝			
15:30	男女団体試合表彰式			
16:30	清掃終了			

全国選手権大会県予選会のタイムスケジュール

日	1月12日（日）			
時	教員	補助員	選　　手	応援生徒
8:00	入館・準備	入館・準備		
9:00			女子入館・更衣（観覧席・更衣室）	
			計量(第２会議室)	９：４５
			男子入館・更衣(観覧席)・計量(屋内相撲場)	入館
10:00	審判打合せ		～１０：００計量終了	
	(第１会議室)			
10:30	開会式			
11:00	男女個人試合開始			
14:30	男女個人試合表彰式			
15:30	清掃終了			

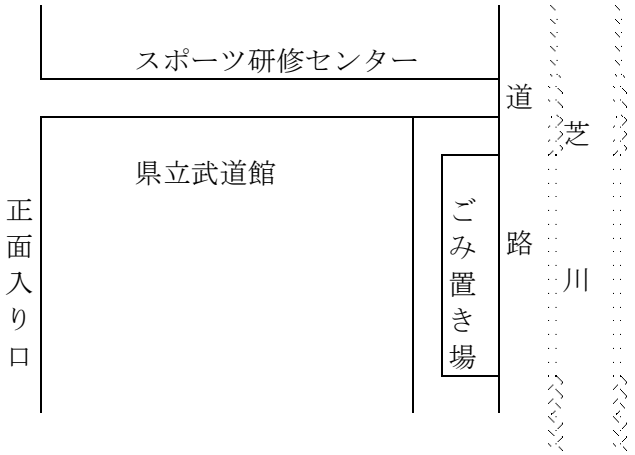
日	1月13日（月）			
時	教員	補助員	選　　手	応援生徒
8:00	入館・準備	入館・準備		
9:00			女子入館・更衣（観覧席・更衣室）	
9:15			*男子入館・更衣(観覧席)*	9:30
9:45	審判打合せ		女子計量(第２会議室)～１０：００ 終了	入館
	(第１会議室)			
10:15	開始式			
10:45	男女団体試合開始			
15:15	男女団体試合決勝			
16:00	男女団体試合表彰式			
17:00	清掃終了			

埼玉県立武道館の注意事項

以下のことが守られないときには、退館させられることがあります。
マナーを守って、大会を成功させましょう。

使用状況が悪いと、県立武道館事務所から大会本部へ連絡があります。

ア　早朝の来館（８時 30 分以前）は、近隣の住民の迷惑になるため厳禁とする。
イ　会場準備は指定された学校の生徒で行う。その他の学校の生徒は入場できない。
ウ　１階正面玄関の利用は役員のみとし、選手・応援者は２階の観客玄関を利用すること。また退館する際も２階の観客玄関から出ること。
エ　男子更衣は２階観覧席、女子更衣はロッカー又は２階観覧席を利用し、通路での更衣はしないこと。またロッカー内に翌日まで荷物を置いた場合は、武道館管理者によって整理されることもあるので注意すること。
オ　道場以外の場所での練習・ウォーミングアップは行わないこと。
カ　館内は土足禁止なので靴は各自用意した袋等に入れること。また中庭は土足エリアですが中庭の橋は土足禁止です。これらのことは保護者にも周知徹底してください。
キ　主道場の観覧席・選手ラウンジ・中庭以外では、飲食はしないこと。また柔道場・剣道場は食事はできません。飲み物のみとることができます。
ク　武道館の小穴がある壁は、強い衝撃によって破損するおそれがあるので十分気をつけること。もしも施設・設備・備品等及び窓ガラス等を破損・忘失した場合は、原則として修理するか、あるいは損害を賠償することになるので注意すること。
ケ　１Ｆ道場に入れるのは県柔連役員・監督・顧問・登録コーチ・登録選手・競技補助役員生徒のみとし、ＯＢ・保護者・応援生徒は２階観覧席より応援をすること。
コ　ゴミは、配布されたビニール袋に①可燃物②ビン・カン③ペットボトルの３つに分けて、武道館北側のスポーツ研修センターの間を通り抜けた東側ゴミ置き場に置くこと。



サ　自転車は、スポーツ研修センター側または南駐車場側外階段下に駐輪すること。
シ　貴重品・荷物は各自で厳重に管理をすること。
ス　雨天時の傘は、学校毎にビニール袋に入れて保管すること。

埼玉県立武道館　駐車場の利用について

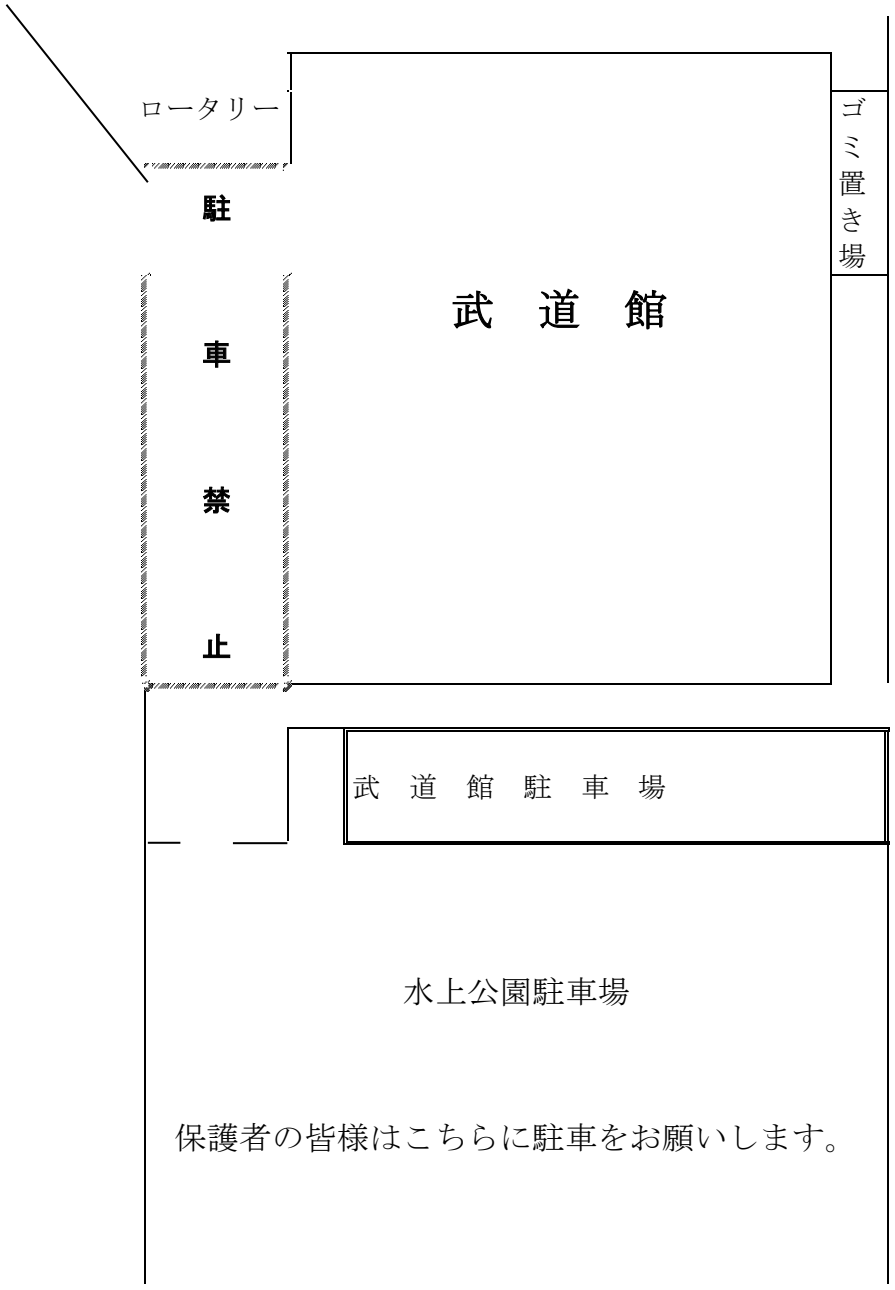
ア　水上公園駐車場を利用すること。

イ　武道館駐車場は、他の団体や一般利用者のためにその都度使用場所・台数が駐車場入り口に掲示されるので、指定場所以外には駐車をしないこと。

ウ　武道館正面入り口から水上公園駐車場までの路上は、駐車禁止。

エ　違法駐車でレッカー移動された場合は、自己責任となります。

※　上記のことを、保護者にも周知徹底させて下さい。



埼玉県高体連柔道専門部　加盟校一覧

＜東　部＞

NO	学　校　名	登録番号	〒	学　校　所　在　地	電話番号	FAX 番号
1	春　日　部	531	344-0061	春日部市粕壁 5539	048-752-3141	760-1202
2	春日部女子	575	344-8521	〃　粕壁東 6-1-1	048-752-3591	760-1203
3	春　日　部　東	554	344-0002	〃　樋籠 363	048-761-0011	760-1206
4	春日部工業	536	344-0053	〃　梅田本町 1-1-1	048-761-5235	760-1204
5	春日部共栄	548	344-0037	〃　上大増新田 213	048-737-7611	737-8093
6	庄　　和	546	344-0117	〃　金崎 583	048-746-7111	718-1100
7	越　ヶ　谷	533	343-0024	越谷市越ヶ谷 2788-1	048-965-3421	960-1184
8	越　谷　北	532	343-0044	〃　大泊 500-1	048-974-0793	973-1181
9	越　谷　南	539	343-0827	〃　川柳町 6-220	048-988-5161	961-1180
10	越　谷　西	542	343-0801	〃　野島 460-1	048-977-4155	973-1183
11	越　谷　東	562	343-0011	〃　増林荒川堤外 5670-1	048-966-8566	960-1186
12	越谷総合技術	568	343-0856	〃　谷中町 3-100-1	048-966-4155	960-1185
13	草　　加	550	340-0002	草加市青柳 5-3-1	048-935-4521	930-1282
14	草　加　南	545	340-0033	〃　柳島町 66	048-927-7671	920-1262
15	草　加　東	551	340-0001	〃　柿木町 1110-1	048-936-3570	930-1287
16	八　　潮	538	340-0802	八潮市鶴ヶ曽根 650	048-996-1130	994-1286
17	八　潮　南	563	340-0814	〃　南川崎 519-1	048-995-5700	998-1293
18	三　　郷	540	341-0041	三郷市市花和田 620-1	048-953-0021	949-1028
19	三　郷　北	557	341-0022	〃　大広戸 808	048-952-0151	949-1026
20	三郷工業技術	569	341-0003	〃　彦成 3-325	048-958-2331	949-1024
21	幸　手　桜	556	340-0111	幸手市北 1-17-59	0480-42-1303	40-1024
22	不　動　岡	547	347-8513	加須市不動岡 1-7-45	0480-61-0140	63-1013
23	花咲徳栄	561	347-8502	〃　花崎江橋 519	0480-65-7181	65-4893
24	久喜北陽	571	346-0031	久喜市久喜本 837-1	0480-21-3334	29-1025
25	久喜工業	553	346-0002	〃　野久喜 474	0480-21-0761	29-1023
26	鷲　　宮	572	340-0213	〃　中妻 1020	0480-58-1200	57-1009
27	栗橋北彩	569	349-1121	〃　伊坂 1	0480-52-5120	55-1008
28	蓮田松韻	567	349-0101	蓮田市黒浜 4088	048-768-7820	765-1500
29	杉　　戸	543	345-0025	杉戸町清地 1-1-36	0480-34-6074	36-1013
30	杉戸農業	535	345-0024	〃　杉戸町堤根 1684-1	0480-32-0029	36-1012
31	昌　　平	564	345-0044	〃　杉戸町下野 851	0480-34-3381	34-9854
32	宮　　代	560	345-0814	宮代町東 611	0480-32-4388	36-1016
33	松　　伏	574	343-0114	松伏町ゆめみ野東 2-7-1	048-992-0121	993-1180

＜西　部＞

NO	学　校　名	登録番号	〒	学　校　所　在　地	電話番号	FAX 番号
1	県　立　川　越	381	350-0053	川越市郭町 2-6	049-222-0224	229-1051
2	川　越　南	422	350-1162	〃　南大塚 1-21-1	049-244-5223	240-1051
3	川　越　西	408	350-1175	〃　笠幡 2488-1	049-231-2424	239-1016
4	川　越　総　合	388	350-0036	〃　小仙波町 5-14	049-222-4148	229-1050
5	川　越　工　業	389	350-0035	〃　西小仙波町 2-28-1	049-222-0206	229-1039
6	市　立　川　越	405	350-1126	〃　旭町 2-3-7	049-243-0800	247-6828
7	城西大附川越	401	350-0822	〃　山田東町 1042	049-224-5665	223-2371
8	秀　　明	409	350-1175	〃　笠幡 4792	049-232-6611	233-2333
9	城　北　埼　玉	425	350-0014	〃　古市場 585-1	049-235-3222	235-7020
10	川　越　東	428	356-0011	〃　久下戸 6060	049-235-4811	235-1150
11	飯　能　南	421	357-0046	飯能市阿須 298-2	042-974-1001	975-1024
12	聖　望　学　園	397	357-0006	〃　中山 292	042-973-1500	973-6541
13	朝　　霞	406	351-0015	朝霞市幸町 3-13-65	048-465-1010	460-1013
14	狭　山　緑　陽	407	350-1321	狭山市上広瀬 232	04-2952-5295	2969-1031
15	狭　山　経　済	446	350-1324	〃　稲荷山 2-6-1	04-2952-6510	2969-1030
16	狭　山　工　業	390	350-1306	〃　富士見 2-5-1	04-2957-3141	2950-1010
17	秋　草　学　園	436	350-1312	〃　堀兼 2404	04-2958-4111	2958-2831
18	坂　　戸	387	350-0271	坂戸市上吉田 586	049-281-3535	988-1107
19	坂　戸　西	419	350-0245	〃　四日市場 101	049-286-9473	979-1009
20	所　　沢	385	359-1131	所沢市久米 1234	04-2922-2185	2925-4448
21	所　沢　北	394	359-0042	〃　並木 5-4	04-2995-5115	2991-1007
22	所　沢　西	420	359-1152	〃　北野 1649	04-2949-2411	2938-1001
23	所　沢　中　央	424	359-0042	〃　並木 8-2	04-2995-6088	2991-1006
24	和　　光	416	351-0115	和光市新倉 2802-1	048-463-1207	460-1015
25	和　光　国　際	439	351-0106	〃　広沢 4-1	048-467-1311	460-1018
26	新　　座	411	352-0015	新座市池田 1-1-2	048-479-5110	489-1032
27	新　座　柳　瀬	415	352-0004	〃　大和田 4-12-1	048-478-5151	489-1030
28	新座総合技術	434	352-0013	〃　新塚 5067	048-478-2111	479-8649
29	立　教　新　座	399	352-8523	〃　北野 1-2-25	048-471-2323	473-0455
30	西　武　台	427	352-0005	〃　中野 2-9-1	048-481－1701	479-2501
31	志　　木	393	353-0001	志木市上宗岡 1-1-1	048-473-8111	470-1061
32	慶応義塾志木	398	353-0004	〃　本町 4-14-1	048-471-1361	471-1974
33	ふ　じ　み　野	417	356-0053	ふじみ野市大井 1158-1	049-264-7801	278-1175
34	富　士　見	402	354-0002	富士見市上南畑 950	049-253-1551	255-4933
35	豊　　岡	386	358-0003	入間市豊岡 1-15-1	04-2962-5216	2960-1053
36	入　間　向　陽	432	358-0001	〃　向陽台 1-1-1	04-2964-3805	2960-1057
37	狭　山　ヶ　丘	395	358-0011	〃　下藤沢 981	04-2962-3844	2962-0656
38	東　　野	440	358-8558	〃　二本木 112-1	04-2934-5292	2934-4665
39	鶴ヶ島清風	435	350-2223	鶴ヶ島市高倉 946	049-286-7501	279-1010
40	県　立　越　生	412	350-0412	越生町西和田 600	049-292-3651	277-1013
41	武　蔵　越　生	400	350-0415	〃　上野東 1-3-10	049-292-3245	292-6081
42	筑波大坂戸	448	350-0214	坂戸市千代田 1-24-1	049-281-1541	283-8017

＜南　部＞

NO	学　校　名	登録番号	〒	学　校　所　在　地	電話番号	FAX 番号
1	県　立　浦　和	301	330-9330	浦和区領家 5-3-3	048-886-3000	885-4647
2	浦　　和　　西	325	338-0042	浦和区木崎 3-1-1	048-831-4847	830-1117
3	浦　　和　　東	336	336-0976	緑区寺山上 365	048-878-2113	812-1013
4	浦　和　工　業	311	338-0832	桜区西堀 5-1-1	048-862-5634	836-1058
5	常　　盤	349	338-0824	桜区上大久保 519	048-852-5711	840-1044
6	市　立　浦　和	313	330-0073	浦和区元町 1-28-17	048-886-2151	883-2029
7	市立浦和南	314	336-0026	南区辻 6-5-31	048-862-2568	838-2932
8	浦和実業学園	320	336-0025	南区文蔵 3-9-1	048-861-6131	861-6132
9	浦　和　学　院	323	336-0975	緑区代山 172	048-878-2101	878-3335
10	小　　松　　原	323	336-0017	南区南浦和 3-21-8	048-885-1488	882-7499
11	大　　宮	302	330-0834	大宮区天沼町 2-323	048-641-0931	640-1965
12	大　　宮　　東	326	337-0021	見沼区膝子 567	048-683-0995	680-1900
13	大　　宮　　南	335	331-0053	西区植田谷本 793	048-623-7329	620-1904
14	大宮武蔵野	347	331-0061	西区西遊馬 1601	048-622-0181	620-1903
15	大　宮　工　業	310	331-0802	北区本郷町 1970	048-651-0445	660-1904
16	市立大宮北	315	331-0822	北区奈良町 91-1	048-663-2912	653-7922
17	市立大宮西	316	330-0856	大宮区三橋 4-96	048-624-3412	622-5700
18	埼　　玉　　栄	321	331-0047	西区指扇 3838	048-624-6488	622-3068
19	栄　　東	338	337-0054	見沼区砂町 2-77	048-651-4050	652-9435
20	与　　野	304	338-0004	中央区本町西 2-8-1	048-852-4505	840-1046
21	い　　ず　　み	308	338-0007	中央区円阿弥 7-4-1	048-852-6880	840-1047
22	岩　　槻	541	339-0043	岩槻区城南 1-3-38	048-798-7171	791-1500
23	岩　槻　北　陵	559	339-0009	岩槻区慈恩寺 117-2	048-794-6060	793-1500
24	岩　槻　商　業	537	339-0052	岩槻区太田 1-4-1	048-756-0100	790-1501
25	開　　智	565	339-0004	岩槻区徳力西 186	048-794-4321	794-4898
26	開智中学高校	565	339-0004	岩槻区徳力西 186	048-794-4321	794-4898
27	県　立　川　口	303	333-0826	川口市新井宿諏訪山 963	048-282-1615	280-1026
28	川　　口　　北	312	333-0831	〃　木曽呂 1477	048-295-1006	290-1013
29	川　　口　　東	332	333-0807	〃　長蔵 3-1-1	048-296-7022	290-1014
30	川　口　青　陵	337	333-0832	〃　神戸東 520-1	048-296-1154	290-1015
31	川　口　工　業	309	333-0846	〃　南前川 1-10-1	048-251-3081	250-1252
32	市　立　川　口	317	332-0001	〃　朝日 5-9-18	048-224-2211	224-0508
33	市立川口総合	343	333-0844	〃　上青木 3-1-40	048-265-3315	269-9998
34	蕨	305	335-0001	蕨市北町 5-3-8	048-443-2473	430-1371
35	武　　南	319	335-0002	〃　塚越 5-10-21	048-441-6948	431-0438
36	南　　稜	331	335-0031	戸田市美女木 4-23-4	048-421-1211	422-6055
37	上　　尾	306	362-0073	上尾市浅間台 1-6-1	048-772-3322	770-1051
38	上　　尾　　南	324	362-0052	〃　中新井 585	048-781-3355	780-1009
39	上尾鷹の台	327	362-0021	〃　原市 2800	048-722-1246	720-1013
40	上　　尾　　橘	334	362-0059	〃　平方 2187-1	048-725-3725	780-1010
41	秀　明　英　光	333	362-0058	〃　上野 1012	048-781-8821	781-8824
42	鳩　　ケ　　谷	341	334-0005	鳩ケ谷市里 225-1	048-286-0565	280-1028
43	伊奈学園総合	339	362-0802	伊奈町羽貫 1300-1	048-728-2510	729-1003
44	栄　　北	344	362-0806	〃　小室 1123	048-723-7711	723-7755

＜北　部＞

NO	学　校　名	登録番号	〒	学　校　所　在　地	電話番号	FAX 番号
1	熊　　谷	481	360-0812	熊谷市大原 1-9-1	048-521-0050	520-1057
2	熊　谷　西	502	360-0843	〃　三ヶ尻 2066	048-532-8881	530-1081
3	熊 谷 農 業	496	360-0812	〃　大原 3-3-1	048-521-0051	520-1060
4	熊 谷 工 業	490	360-0832	〃　小島 820	048-523-3354	520-1061
5	熊 谷 商 業	489	360-0833	〃　広瀬 800	048-523-4545	520-1063
6	県立熊谷女子	508	360-0031	〃　末広 2-131	048-521-0015	520-1052
7	科学技術学園	499	360-0846	〃　拾六間 839	048-532-3554	532-3554
8	妻　　沼	510	360-0203	〃　弥藤吾 480	048-588-6800	567-1005
9	進　修　館	491	361-0023	行田市長野 1320	048-556-6291	550-1058
10	本　　庄	482	367-0021	本庄市柏 1-4-1	0495-21-1195	25-1024
11	本　庄　東	494	367-0022	〃　日の出 1-4-5	0495-22-6351	22-6333
12	早大本庄学院	506	367-0035	〃　西富田 1136	0495-21-2400	24-4065
13	児　　玉	483	367-0217	〃　児玉町八幡山 410	0495-72-1591	73-1009
14	児 玉 白 楊	495	367-0216	〃　児玉町金屋 980	0495-72-1566	73-1011
15	秩　　父	484	368-0035	秩父市上町 2-23-45	0494-22-3606	21-1041
16	秩父農工科学	487	368-0005	〃　大野原 2000	0494-22-3017	21-1040
17	深　　谷	504	366-8515	深谷市宿根 315	048-572-1215	570-1015
18	深 谷 商 業	488	366-0035	〃　原郷 80	048-571-3321	570-1016
19	正 智 深 谷	503	366-0801	〃　上野台 369	048-571-1065	573-0944
20	小　鹿　野	486	368-0105	小鹿野町小鹿野 962-1	0494-75-0205	72-1001
21	吹 上 秋 桜	497	369-0132	鴻巣市前砂 907-1	048-548-5811	547-1043
22	桶　　川	329	363-0008	桶川市坂田 945	048-728-4421	729-1004
23	桶　川　西	342	363-0027	〃　川田谷 1531-2	048-787-0081	789-1051
24	北　　本	330	364-0003	北本市古市場 1-152	0485-92-2200	90-1009
25	松　　山	382	355-0018	東松山市松山町 1-6-10	0493-22-0075	21-1248
26	東京農大第三	437	355-0005	〃　松山 1400-1	0493-24-4611	24-4696
27	滑 川 総 合	404	355-0813	滑川町月輪 1136	0493-62-7000	61-1061
28	鳩　　山	429	350-0313	鳩山町松ヶ丘 4-1-2	049-296-5395	298-1011
29	小　　川	384	355-0328	小川町大字大塚 1105	0493-72-1158	71-1045

埼玉県高体連柔道専門部　関係機関一覧

埼玉県立武道館
住所　〒３６２－００３２　上尾市日の出４－１８７７
ＴＥＬ　０４８－７７７－２４００　　ＦＡＸ　０４８－７７７－２４１４

埼玉県高等学校体育連盟（学校体育協会）
住所　〒３３０－００６２　さいたま市浦和区仲町３－５－１
県民健康センター４階
ＴＥＬ　０４８－８２２－６７９２　　ＦＡＸ　０４８－８２２－０２８１

埼玉県柔道連盟
住所　〒３３０－００７４　さいたま市浦和区北浦和５－６－５
浦和合同庁舎内４階
ＴＥＬ　０４８－８２２－５８９１　　ＦＡＸ　０４８－８３３－８６１８

埼玉県高体連柔道専門部委員長　　鎌塚　智樹
住所　〒350-0053　川越市郭町 2-6　埼玉県立川越高等学校内
ＴＥＬ　０４９－２２２－０２２４　　ＦＡＸ　０４９－２２９－１０５１

大会結果の報告について

各大会の結果については、大会終了日に
高体連事務局・県スポーツ振興課・埼玉新聞社
・読売新聞社までＦＡＸかメールで報告してください。

① 高体連事務局
FAX：048-822-0281
E-mail：kotairen@green.ocn.ne.jp

② スポーツ振興課
FAX：048-830-4967
E-mail：a6940-05@pref.saitama.lg.jp

③ 埼玉新聞
FAX：048-653-9026
E-mail：sports@saitama-np.co.jp

④ 読売新聞
FAX：048-822-5238
E-mail：saitama@yomiuri.com
（問い合わせ先）電話：048-822-0181